

令和元年版

消防年報



令和元年長万部高校インターンシップ
(令和元年9月20日)

長万部町消防本部
(令和2年刊行)

長万部町民憲章

わたくしたちは、朝に夕に内浦の潮さいを聞き、道南の交通のかなめとして歴史をくりひろげてきた長万部の町民です。

わたくしたちは、このまちの町民であることに誇りをもち、生きがいのあるまちづくりをねがい町民憲章をさだめます。

1 ちからを合わせ、 心あたたかなまちをつくろう。

すこやかな、こころとからだをはぐくみ
すべてのひとに親切といいたわりを

1 ちからを合わせ、 暮らし豊かなまちをつくろう。

しごとをくふうし、技術をたかめ
むだをはぶいて、よりよい生活を

1 ちからを合わせ、 規律あるまちをつくろう。

きまりをまもり、事故をなくし
公共の施設をたいせつに

1 ちからを合わせ、 環境のきれいなまちをつくろう。

自然をまもり育て、公害をふせぎ
いつも身のまわりから清けつに

1 ちからを合わせ、 文化の高いまちをつくろう。

よい伝統を受けつぎ、学芸にしたしみ
みずから学ぶ努力を



はしがき

この年報は、本町消防の業績状況及び現勢を明らかにし、この結果を消防行政上、有効に活用する目的をもって編集しました。

統計は、火災、救急等にあっては令和元年12月31日現在、その他については、当該表にそれぞれ記載する年月日で表示しております。

令和2年 12月 10日

長万部町消防本部

目 次

第一章 庶務関係

1 長万部町の概要	1
2 長万部町消防の沿革	
(1) 沿革	2~8
(2) 長万部町大火等の記録	9
(3) 叙勲・藍綬褒章受章等	9
(4) 歴代消防長・消防署長・消防団長	10~11
3 令和元年度主要行事	12
4 消防組織と現有力	
(1) 消防組織図	13
(2) 職員の配置	14
(3) 職員の年齢	14
(4) 職員の勤続年数	14
(5) 職員資格技能取得者	15
(6) 職員消防学校入校状況	15
(7) 団員の配置	16
(8) 団員の年齢	16
(9) 団員の勤続年数	16
(10) 団員の退職報償金	17
(11) 団員の報酬	17
5 消防施設等の現況	
(1) 消防庁舎の概況	18~19
(2) 消防施設の位置図	20
6 消防予算	
(1) 人口・世帯数に対する職団員の推移	21
(2) 町勢と消防現勢比率	22
(3) 一般会計に対する消防費比率	22
(4) 令和元年度消防費決算額内訳	22
(5) 令和2年度消防費予算額内訳	22

第二章 予 防 関 係

1 火災予防査察	
(1) 防火対象物の査察状況	23
(2) 一般住宅の防火査察状況	23
2 建築同意件数状況	24
3 危険物施設の状況	25
4 諸願届出処理状況	26
5 避難訓練等の実施状況	26
6 中高層建築物の状況	26
7 消防関係機関の状況	
(1) 消防後援会	27
(2) 危険物安全協会	27
(3) 婦人防火クラブ	27
(4) 少年防火クラブ	27

第三章 警 防・救 急 関 係

1 火災・救急・救助出動状況	
(1) 火災出動状況	28
(2) 救急出動状況	28
(3) 救助出動状況	29
(4) 災害出動状況	29
2 救急講習等の受講・実施状況	
(1) 署員の受講状況	30
(2) 一般市民の受講状況	30
3 車両・機械資機材等の現況	
(1) 消防車両・装備機材の状況	31
(2) 消防資機材の整備状況	32
4 通信設備装置等の概況	
(1) 一般電話・携帯電話・専用電話等の設置状況	33
(2) 無線施設の状況	34

5 サイレン遠隔吹鳴装置の整備状況	35
6 消防水利の状況	35

第四章 統計

1 火災統計

(1) 令和元年火災発生状況	36
(2) 過去10年間の火災発生状況	37
(3) 出火原因別火災発生状況	38

2 救急統計

(1) 令和元年救急件数	39
(2) 過去10年間の救急件数	40
(3) 程度・年齢別搬送人員	41
(4) 時刻別搬送人員	42
(5) 現着・収容所要時間別出動件数	43

3 気象統計

(1) 令和元年気象記録集計表	44
(2) 過去10年の気象状況	45

4 通報統計

(1) 専用電話受信状況	46
(2) 高齢者等緊急通報システム受信状況	46
(3) 医療情報システム検索状況	46

第

庶

務 章

關

係

長万部町の位置

東は内浦湾に臨み、北は長万部川をさかのぼって、島牧村・黒松内町に接し、西は今金町に、南は八雲町に接している。



1 長万部町の概要

長万部町は、北海道渡島半島内浦湾の最深部に位置し、南北最長28.4km東西最長29.4kmにわたり、総面積は310.76Km²で、国道5号線、37号線230号線の主要幹線が集中している。かつては国鉄の函館本線、室蘭本線瀬棚線の分岐点があり、鉄道の町として栄えたが、現在はドライブイン街に立ち並ぶカニ販売店や天然記念物の石灰ドームがある二股らぢうむ温泉が有名で、世界的にも珍しいワイン型の漁港が建設され、ホタテ貝の養殖が盛んに行われている。又、東京理科大学長万部校舎が開校され学術文化の町としても発展し、平成9年10月には道央自動車道路の長万部インターが開通し、平成13年11月には国縫インターも開通となり、地域と中央圏への交通の要衝として重要な役割を果たしております。

又、平成10年には北海道新幹線長万部駅が決定となり早期開通が待たれるところであります。

- 開 基 明治6年（1873年）「平成25年で開基140周年」
- 位 置 東経／140度 9分～140度33分
北緯／ 42度22分～ 42度37分
- 面 積 310.76Km²
- 人 口 5,234人 （男2,424人 女2,810人）
- 世帯数 2,927世帯 「令和2年3月31日現在」

☆地名の由来

おしゃまんべ町という名の由来は、市街地北東部にある標高498mの写万部山が起源といわれ、その昔、カレイが豊富に獲れる海岸の目印としてアイヌの人々がこの山をシャマンペ（カレイ）ヌプリ（山）と呼んだのが転訛したものと考えられています。

2 長万部町消防の沿革

(1) 沿 革

明治 33 年 9 月	國縫火防組創設、出初め式を行った。 〔初代組頭 武内重右ヱ門〕
明治 44 年 10 月	公立長萬部消防組創設、腕用ポンプを購入配置 〔初代組頭 岡部定太郎〕
大正 8 年 2 月	國縫消防組が管内消防組消防大会に出場し【優勝】の栄によくして、名誉賞・金馬簾一条をうけた。
大正 8 年 11 月	腕用ポンプ購入配備（國縫消防組）
大正 9 年 9 月	長萬部消防組創立 10 年記念演習、祝賀会が行われた。
大正 11 年 9 月	静狩消防組が住民の寄付をもって機械器具を設備し私設消防組を組織した。〔初代組頭 吳 竹次郎〕
大正 11 年 12 月	北海道警察部長より金馬簾の使用が認許された。〔國縫消防組〕
大正 13 年 7 月	静狩消防組が公設消防組となった。〔組頭 永井小四郎〕
大正 14 年 8 月	公立中ノ澤消防組創設、腕用ポンプを購入配置
昭和 2 年 7 月	静狩消防組に金馬簾の使用が許可された。
昭和 3 年 2 月	静狩消防組に手挽ガソリンポンプ 1 台を増設
昭和 7 年 7 月	長萬部村内三公設消防組が統合した。
	長萬部、國縫、静狩の三部制とし組頭は村長が兼任した。
昭和 8 年 12 月	手挽ガソリンポンプを購入配置
昭和 10 年 9 月	静狩鉱山の発展により鉱山消防組（員20名）が公認された。 静狩金山が自動車ポンプ他一切の施設を寄付する。
昭和 10 年 10 月	手挽ガソリンポンプを購入配置
昭和 11 年 8 月	手挽ガソリンポンプを購入配置
昭和 13 年 1 月	私設二股消防組を公設消防組とした。
昭和 14 年 1 月	私設川向消防組を公設消防組とし、長萬部消防組を三部編成とした。
昭和 14 年 3 月	警防団令の施行により四個消防組を合併し、長萬部村警防団に改組した。
昭和 14 年 4 月	静狩金山の経費負担により、静狩鉱山警防団を設置した。
昭和 16 年 3 月	山本安太郎氏が自動車ポンプ 1 台を寄贈、第 1 号配置した。
昭和 18 年 3 月	静狩鉱山警防団が解散した。

・歴代長萬部消防組頭及び警防団長

初代	岡 部 定太郎	4代	高 村 由 蔵	7代	竹 内 彌次郎
2代	横 田 寿 吉	5代	清 水 富太郎	8代	山 本 安太郎
3代	東 条 幾太郎	6代	北 岡 惣次郎		

- 昭和21年 9月 長萬部警防団の改組結成式が挙行され、長万部町消防団に改組、4分団を設置し、団長に野蠻作太郎が就任した。
- 昭和22年 7月 消防団長に金谷金次郎氏が就任した。
- 昭和22年 9月 長万部消防団後援会が設立され、会長に山本安太郎氏が就任した。
- 昭和23年 12月 消防団給与条例・団員の定数・任免・服務・消防吏員の定数
18人、団員定数200人など一連の条例、規則を制定
消防本部設置 初代消防長は金谷団長が兼務した。
- 昭和24年 10月 第2号自動車ポンプ購入、長万部分団に配置
- 昭和25年 10月 第3号自動車ポンプ購入、長万部分団に配置
第2号自動車ポンプ静狩分団に配置替えをした。
- 昭和26年 7月 長万部駅前に鉄筋コンクリートの防火水槽を建設した。
- 昭和27年 6月 函館市で行われた渡島管内消防技能競技大会で長万部町消防団が優勝した。
- 昭和27年 6月 小型動力ポンプを購入、双葉分団に配置した。
- 昭和27年 7月 北海道消防技能競技大会で準優勝した。
- 昭和28年 7月 消防タンク車購入、長万部分団に配置
第2号自動車ポンプを国縫分団に配置替えをした。
- 昭和28年 7月 上磯町で開催された消防競技大会で長万部消防団が2年連続優勝した。
- 昭和33年 7月 長万部分団第6部(獺ノ沢分団)に小型動力ポンプを配備
- 昭和34年 8月 長万部分団第5部に小型動力ポンプを配備
- 昭和36年 10月 国縫消防会館落成
- 昭和37年 7月 国縫分団に小型動力ポンプ〔シバウラ〕を配備
- 昭和38年 8月 渡島地方消防訓練大会が長万部町で開催された。
- 昭和38年 9月 静狩分団に小型動力ポンプ〔シバウラ〕を配備
- 昭和39年 9月 双葉分団に小型動力ポンプ〔シバウラ〕を配備
- 昭和39年 12月 消防本部庁舎が鉄筋コンクリート二階建(297.02m²)に移転新築落成された。
- 昭和40年 11月 長万部消防後援会よりトヨエース(63年型 1,200cc55馬力)
中古車が贈与され、旭川森田ポンプにおいて小型動力ポンプ
積載車として艦装を行なった。
- 昭和42年 8月 静狩・国縫に小型動力ポンプ付積載車(トヨエース)を配備
- 昭和43年 7月 日本赤十字社から救急車が配備され救急業務を開始した。
- 昭和43年 12月 1号タンク車(2,500ℓ)を購入配備〔いすゞ〕
- 昭和44年 1月 長万部局の電話がダイヤル式に切換えられ消防本部に緊急
通信用の電話119番がついた。

昭和44年	1月	消防本部に化学消火剤を積載したタンク車が配備された。
昭和45年	2月	長万部町消防団に対し、日本消防協会長より竿頭綬が授与された。
昭和45年	6月	長万部分団第4部創設
昭和46年	11月	3号ポンプ車を購入〔トヨタ〕
昭和47年	9月	2号タンク車(2,500ℓ)を購入配備〔いすゞ〕
昭和48年	4月	消防職員増員、13名体制となった。
昭和48年	10月	消防長事務取扱に助役、杉田和典氏が就任した。
昭和49年	1月	消防団長に、石川 武氏が就任した。
昭和49年	10月	消防署が設置された。
昭和49年	11月	長万部分団第4部に小型動力ポンプ付積載車を配備した。 〔トヨタトヨエース〕
昭和50年	4月	消防指令車を購入する。〔トヨタコロナバン〕
昭和50年	4月	消防職員を増員し、15名体制とした。
昭和52年	6月	渡島地方消防総合訓練大会が、長万部町で開催された。
昭和53年	6月	2B型救急車〔トヨタハイエース〕を購入配備
昭和53年	6月	救急車〔トヨタクラウンバン〕を旭川日赤に返還した。
昭和53年	7月	自治体消防制度30周年記念渡島地方消防総合訓練大会が開催された。消防ポンプ自動車操法の部【3位入賞】
昭和53年	12月	故 元消防団長 金谷金次郎氏の妻 タケ夫人から50万円が寄贈された。〔アルミ防火服30着購入〕
昭和54年	8月	中ノ沢分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
昭和57年	3月	第5部小型動力ポンプを廃棄処分した。町資料館に寄贈
昭和57年	6月	消防指令車更新〔日産スカイラインバン〕
昭和57年	8月	北海道消防操法訓練大会小型ポンプ操法の部で国縫分団が出場し優勝した。
昭和58年	8月	国縫分遣所が改築された。
昭和59年	8月	静狩分遣所が改築された。
昭和59年	10月	消防団員の定数180人とする。
昭和60年	2月	1号タンク車を更新〔いすゞフォワード〕
昭和60年	7月	国縫分団所属小型動力ポンプ付積載車を更新〔トヨタダイ〕
昭和60年	12月	静狩分団所属小型動力ポンプ付積載車を更新〔トヨタダイ〕
昭和61年	1月	故 元町議会議長 金谷勝次郎の妻 静子夫人から50万円が寄贈された。〔消防団旗購入〕
昭和61年	5月	故 消防長事務取扱 杉田和典の妻 弘夫人から100万円が寄贈された。〔ホース27本購入〕
昭和61年	9月	2号タンク車を更新〔いすゞフォワード〕
昭和61年	12月	団長に野呂義一氏が就任した。
昭和63年	7月	2B型救急車を更新〔トヨタハイエース4WD〕
昭和63年	9月	3号ポンプ車を更新〔いすゞフォワード〕
昭和63年	9月	消防団員の定数150人とする。
平成元年	2月	山之内製薬株式会社より2B型救急車が寄贈された 〔日産キャラバン〕

平成 元年 6月	消防指令車を更新〔トヨタクラウンバン〕
平成 元年 12月	消防団長に石田豊治氏が就任した。
平成 2年 5月	平成2年度渡島地方消防総合訓練大会に出場した。 ポンプ車操法の部【準優勝】
平成 2年 7月	北海道消防操法訓練大会、長万部分団がポンプ車の部に出場した。
平成 2年 10月	故 元消防団長 野呂義一の妻 タケ子夫人から100万円が寄贈された。〔防火服30着・テント2張購入〕
平成 3年 5月	平成3年度渡島地方消防総合訓練大会に出場した。 ポンプ車操法の部、2年連続【準優勝】
平成 3年 11月	長万部分団第4部、小型動力ポンプ付積載車更新 〔三菱キャンター4WD〕
平成 4年 4月	消防職員を増員し、17名体制とした。
平成 4年 10月	サイレン遠隔吹鳴装置を新設した。
平成 5年 6月	親局1(本部)子局5(温泉、国縫、静狩、中ノ沢、双葉) 平成5年度渡島地方消防総合訓練大会が長万部町で開催された。 ポンプ車操法の部 【優勝】
平成 5年 7月	小型動力ポンプ操法の部 【準優勝】 北海道南西沖地震(震度6)により公共施設・住宅等を含め被害額45億1,200万円におよんだ。
平成 5年 7月	北海道南西沖地震に伴い、北海道広域消防相互応援協定により第2要請があり、奥尻町へ職員1名の派遣を行なった。
平成 5年 7月	国縫、静狩分遣所を廃止し、分団機械器具置場とした。
平成 5年 10月	長万部町消防本部が南西沖地震による功労で、北海道消防表彰を(隨時表彰)受賞した。
平成 6年 7月	長万部町消防本部が防災功労消防庁長官表彰を受賞する。
平成 6年 11月	サイレン遠隔吹鳴装置子局を増設した。(国縫、静狩)
平成 7年 6月	油圧式救助器具購入(メークー:アムカス)
平成 7年 8月	函館空港全日空機ハイジャック事件応援活動のため救急車1台及び救急隊員3名を派遣し、この功績により消防庁長官より感謝状が授与された。
平成 7年 10月	防火水槽(耐震性)を中ノ沢地区に設置した。
平成 8年 7月	双葉分団に小型動力ポンプ積載車を配備 〔四輪駆動軽自動車・B3級トーハツポンプ〕
平成 8年 7月	サイレン遠隔吹鳴装置子局増設(字大浜・字旭浜)
平成 8年 7月	北海道消防操法訓練大会、静狩分団が小型ポンプ操法の部に出場した。
平成 9年 4月	消防長専任化される。消防長に加谷脩氏が就任した。
平成 9年 4月	消防職員を増員し、20名体制とした。
平成 9年 6月	長万部町消防団に対し、北海道消防協会長から表彰旗が授与された。
平成 9年 7月	サイレン遠隔吹鳴装置子局増設(曙町)
平成 9年 10月	道央自動車道長万部インターが開通し北海道高速自動車国道事故等対策訓練が開催される。(人員97名、車両17台、ヘリ2機)

平成 10 年 11 月	平成 10 年度北海道定例消防表彰で、長万部町消防団に対し、北海道知事より竿頭綬を授与された。 サイレン遠隔吹鳴装置子局増設（南栄町）
平成 11 年 2 月	救急救命士配置（同年 4 月一部運用開始）
平成 11 年 2 月	高規格救急自動車導入（日産パラメデック 3, 300cc）
平成 11 年 6 月	消防指令車更新（トヨタサーフ 4WD 3, 400cc）
平成 11 年 7 月	サイレン遠隔吹鳴装置子局増設（高砂町）
平成 12 年 3 月	有珠山噴火に伴い北海道広域消防相互応援協定により虻田町へ職員延べ 28 名の派遣を行った。
平成 12 年 4 月	消防長に竹政良記氏が就任した。
平成 12 年 8 月	有珠山噴火に対する応援派遣により、消防本部に対し消防庁長官から褒状が授与された。
平成 12 年 9 月	J A 共済より 2B 型救急車が寄贈された。 (トヨタグランビア 3, 400cc)
平成 12 年 12 月	国縫消防分団創設 100 周年記念式典が挙行された。
平成 13 年 2 月	長万部町消防団に対し、日本消防協会長から表彰旗が授与された。
平成 13 年 3 月	長万部町消防団に対し、消防庁長官から竿頭綬が授与された。
平成 13 年 11 月	道央自動車道国縫インター開通
平成 14 年 4 月	消防長に高橋栄氏が就任した。
平成 15 年 7 月	中ノ沢分団所属小型動力ポンプ付積載車を更新 (トヨエース 1.75t 4WD)
平成 15 年 9 月	十勝沖地震 苦小牧出光興産コンビナート予防対策支援活動に伴い北海道広域消防相互応援協定に基づき苦小牧市へ職員 1 名の派遣を行った。
平成 15 年 10 月	消防本部庁舎が鉄筋コンクリート造二階建一部塔屋 (1,100.3m ²) が完成し移転した。
平成 15 年 11 月	長万部町消防団に対し、北海道知事から表彰旗が授与された。
平成 17 年 4 月	消防長に高橋浩實氏が就任した。
平成 18 年 3 月	長万部町消防本部・長万部町消防団に対し消防庁長官から表彰旗が授与された。
平成 18 年 8 月	消防団長に守田則雄氏が就任した。
平成 19 年 4 月	消防長に影浦和康氏が就任した。
平成 20 年 6 月	渡島地方消防総合訓練大会が長万部町で開催された。 (渡島支庁管内 11 市町村 16 消防団 762 名参加)
平成 21 年 6 月	消防団員用活動服整備事業で 106 名全員に活動服を貸与した。

- 平成21年 9月 高規格救急自動車を更新〔トヨタハイメデック2, 700cc〕
〔2B型救急車トヨタグランビア3,400ccを予備車とした。〕
- 平成21年10月 1号消防タンク車を更新〔日野自動車8,800cc 3,000ℓ〕
〔旧1号タンク車いすゞフォワードは道消防学校に寄贈した。〕
- 平成22年 1月 サイレン遠隔吹鳴装置子局2基増設
〔旧消防署跡地（元町）、現消防本部（大町）〕
- 平成22年 2月 住宅用火災警報器設置業〔町内居住世帯に1個無料配布〕
(設置した件数 2,764世帯)
- 平成22年 4月 消防長に土田秀明氏が就任した。
- 平成23年 7月 北海道消防操法訓練大会、国縫分団が小型ポンプ操法の部に出場した。
- 平成24年 2月 国縫分団所属小型動力ポンプ付積載車を更新
(いすゞELF 4WD)
- 平成24年 7月 女性消防団員13名、事業所消防団員10名が入団し、
団本部に事業所部、女性部を設置した。
- 平成24年11月 消防救急デジタル無線設備基本設計完了。
- 平成25年 4月 消防長に佐藤英代氏が就任した。
- 平成25年10月 JA共済より2B型救急車が寄贈された。
(トヨタハイエース 2,700cc)
(旧日産パラメデックは道消防学校に寄贈した。)
- 平成25年11月 消防団員安全装備品事業で防火衣一式 13着を装備した。
- 平成26年 2月 消防救急デジタル無線設備実施設計完了。
- 平成26年11月 消防庁より救助資機材搭載型車両の無償貸付を受け、
静狩分団に配置。(いすゞELF)
〔旧静狩積載車（トヨタダイナ）は、平成27年度に発足する
機能別消防隊特別水槽部隊（堀川清掃）に配置。〕
- 平成27年 3月 消防救急デジタル無線システム整備完了。
(総事業費154,100千円) (平成27年度運用開始予定)
- 平成27年 4月 町内5事業所から機能別消防団員21名が入団。
団本部に特別水槽部隊（12名）、特別重機部隊（7名）、特別林野部隊（2名）、特別救助部隊（静狩分団兼任）の4部隊からなる機能別消防隊を設立。
- 平成27年5月20日、本部庁舎前で発足式を行った。
- 機能別消防隊へ多数入団させた功により長万部町長から株式会社堀川清掃へ感謝状が授与された。
- 台風10号が長万部町に接近。
- 出動職員 20名 出動車輛 4台 通報件数 23件
- コミュニティー助成事業にて、流水対策胴付6着、救命胴衣50着、救助ボート2艇を整備した。
- 長万部町消防団の団員数が、定員の150名となった。
- 大型水槽車を購入し配備完了。
- 平成30年北海道胆振東部地震に伴い、北海道広域消防相互応援協定により第2要請があり、厚真町へ職員2名の派遣を行った。
- 消防長に中田義之氏が就任した。

平成30年11月 消防団員安全装備品整備事業助成金で半長靴111足を装備した。（女性部及び機能別消防隊を除く全団員分）

平成30年12月 国縫機械器具置場が移転新築落成された。

令和2年 3月 長万部町消防団に対し、消防庁長官から竿頭綬が授与された。

(2) 長万部町大火等の記録

内容等 発生年月日	大火等の内容	焼失 棟数	焼失面積 (m ²)	死者	傷者
				損害額	
大正5年 9月 1日	字國縫市街地住宅から出火。	28	不明	不明	
昭和9年 7月25日	字長万部市街地住宅から出火。 道路が狭く木造の家屋が立込み延焼。	99	不明	0 10 不明	
昭和30年 9月23日	字静狩市街地から放火により出火。 消防機関に対する通報の遅れにより延焼。	18	1,432.2 3千3百万円	一 一	
昭和33年 2月25日	字長万部25番地 住宅より出火。 玄関以外の避難口が無く7名の死傷者。	2	116.33 175万円	6 1 175万円	
昭和36年 12月14日	字静狩市街地 煙突の加熱により出火。 西の風10mにより延焼。	17	1,548.0 3千5百万円	0 0 3千5百万円	
昭和42年 4月16日	字国縫北晴合板(株)国縫工場より出火。 木造の大建築物で水利の便が悪く全焼。	1	4,532.0 1億5千万円	0 0 1億5千万円	
平成3年 3月27日	字長万部温泉街休業中の旅館より出火。 南東の風8m木造老朽建築物のため全焼。	2	658.0 2千98万円	2 2 2千98万円	

(3) 叙勲・藍綬褒章受章等

受章年月	受章種別	階級	氏名
昭和 42年 2月	藍綬褒章受章	消防司令長	金谷 金次郎
昭和 47年11月	勲六等瑞宝章	元副団長	吉沢 益登
昭和 48年 4月	勲六等瑞宝章	元副団長	東 時次郎
昭和 50年 4月	勲五等双光旭日章	元消防司令長	金谷 金次郎
昭和 60年 4月	勲六等瑞宝章	元副分団長	鈴木 逸郎
昭和 61年11月	勲五等双光旭日章	元団長	石川 武
昭和 61年11月	勲六等瑞宝章	元分団長	小柳 虎雄
平成 元年11月	勲六等瑞宝章	元分団長	菅野 政一
平成 2年 7月	勲六等单光旭日章	元団長	野呂 義一
平成 5年11月	勲六等瑞宝章	元分団長	尾西 一郎
平成 11年 4月	勲六等单光旭日章	元副団長	斎藤 忠雄
平成 17年11月	瑞宝单光章	元分団長	橋場 清一
平成 19年11月	瑞宝双光章	元団長	石田 豊治
平成 19年11月	瑞宝单光章	元副団長	太田 一夫
平成 26年 4月	瑞宝双光章	元消防司令長	竹政良記
平成 26年 9月	瑞宝单光章	元分団長	濱野 定雄
平成 27年 4月	瑞宝双光章	元消防司令長	高橋 榮
平成 27年 4月	瑞宝单光章	元副団長	佐藤 重吉
平成 28年11月	瑞宝单光章	元分団長	菊池 弘
平成 30年 1月	瑞宝双光章	元消防司令長	影浦 和康
平成 30年11月	瑞宝单光章	元分団長	眞神 弘
平成 31年 2月	瑞宝单光章	元副団長	横手 雅廣

(4)歴代消防長・署長・団長

①歴代消防長

消防長	氏名	期間	備考
初代	金谷金次郎	自昭和23年12月3日 至昭和48年10月19日	消防団長兼務
2代	杉田和典	自昭和48年10月20日 至昭和61年3月31日	助役事務取扱
3代	西田君雄	自昭和61年4月1日 至昭和62年5月20日	町長事務取扱
4代	本間 隆	自昭和62年5月20日 至平成3年7月9日	助役事務取扱
5代	西田君雄	自平成3年7月9日 至平成4年5月14日	町長事務取扱
6代	藤田慎太郎	自平成4年5月14日 至平成8年3月31日	助役事務取扱
7代	高谷紀男	自平成8年4月1日 至平成9年3月31日	助役事務取扱
8代	加谷 僕	自平成9年4月1日 至平成12年3月31日	
9代	竹政良記	自平成12年4月1日 至平成14年3月31日	
10代	高橋 榮	自平成14年4月1日 至平成17年3月31日	
11代	高橋浩實	自平成17年4月1日 至平成19年3月31日	
12代	影浦和康	自平成19年4月1日 至平成22年3月31日	
13代	土田秀明	自平成22年4月1日 至平成25年3月31日	署長兼務 平成22年12月31日まで
14代	佐藤英代	自平成25年4月1日 至平成30年10月31日	
15代	中田義之	自平成30年11月1日 至	

②歴代消防署長

消防署長	氏名	期間	備考
初代	吉荒正志	自昭和49年10月1日 至昭和52年3月31日	
2代	斎藤孝市	自昭和52年4月1日 至昭和54年4月30日	
3代	嶋崎昭治	自昭和54年5月1日 至昭和62年3月31日	
4代	番井省吾	自昭和62年4月1日 至平成2年4月1日	
5代	田中 隆	自平成2年4月1日 至平成7年4月1日	
6代	中田 黙	自平成7年4月1日 至平成9年4月1日	
7代	竹政良記	自平成9年4月1日 至平成12年3月31日	
8代	高橋 榮	自平成12年4月1日 至平成14年3月31日	
9代	影浦和康	自平成14年4月1日 至平成19年3月31日	
10代	土田秀明	自平成19年4月1日 至平成22年12月31日	
11代	佐藤英代	自平成23年1月1日 至平成25年3月31日	
12代	中田義之	自平成25年4月1日 至平成30年10月31日	
13代	土谷憲秋	自平成30年11月1日 至平成31年3月31日	
14代	沼田明宏	自平成31年4月1日 至	

③歴代消防団長

消防団長	氏名	期間	備考
初代	野蠻作太郎	自 至 昭和21年9月1日 昭和22年7月28日	
2代	金谷金次郎	自 至 昭和22年7月29日 昭和48年10月19日	
3代	石川 武	自 至 昭和48年12月15日 昭和61年11月30日	
4代	野呂義一	自 至 昭和61年12月1日 平成元年11月30日	
5代	石田豊治	自 至 平成元年12月1日 平成18年7月31日	
6代	守田則雄	自 至 平成18年8月1日	

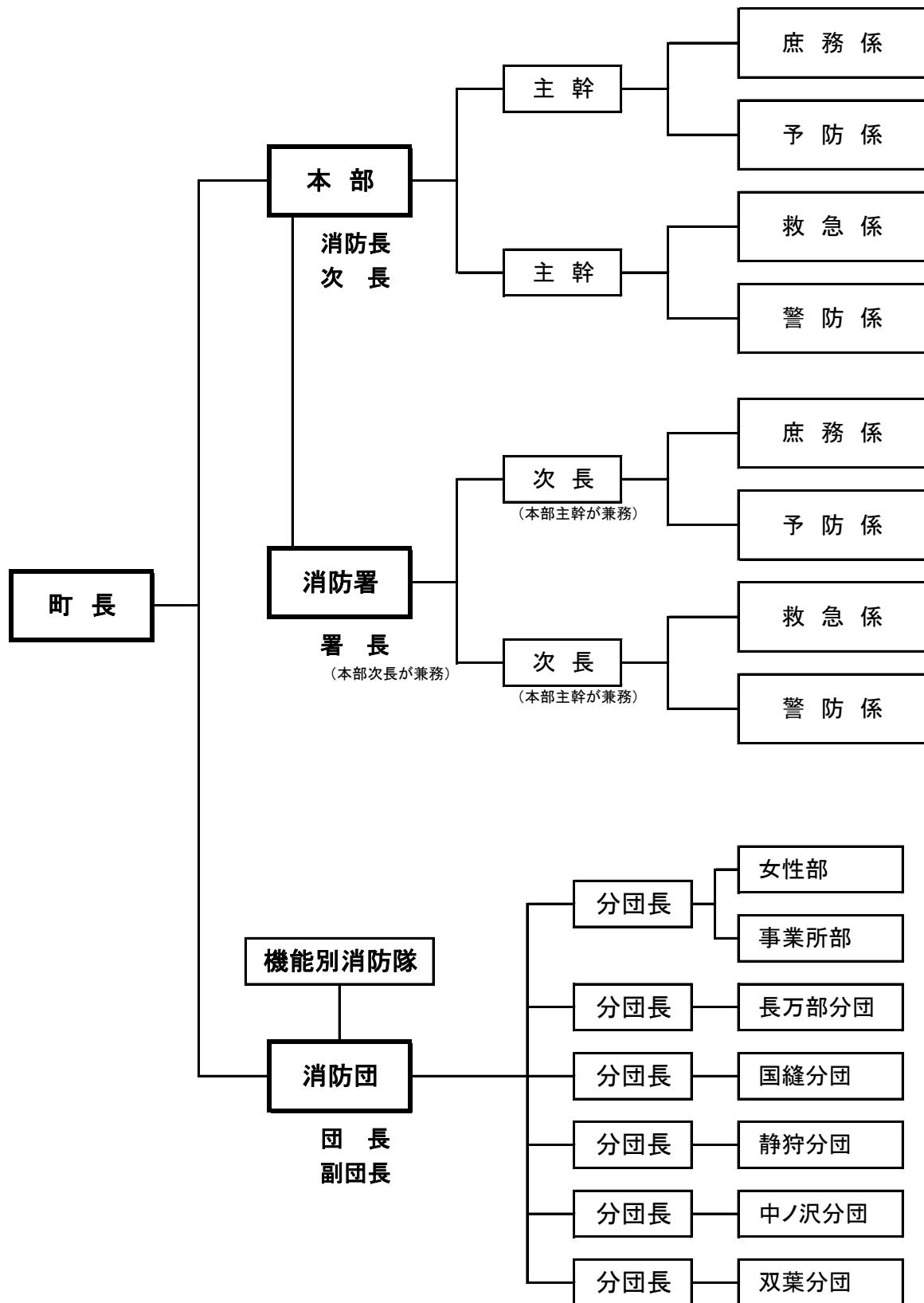
3 令和元年度の主要行事

年月日・期間	所管係	行 事 等
4月 11日	予防係	長万部町危険物安全協会定期総会 会員 18名 職員 6名
4月 22日	庶務係	第1回長万部町消防団幹部会議 団員 14名 職員 4名
4月 20日 ～ 4月 30日	予防係	全道春の火災予防運動 (第1回消防団員定期訓練) 団員 34名 職員 12名
6月21日	救急係	東京理科大学(学生対象) 救急救命講習 受講者 75名 職員 3名
6月 23日 ～ 6月 28日	警防係	第2回消防団員定期訓練 団員 22名
7月 5日	警防係	令和元年度渡島地方消防総合訓練大会 長万部町「長万部町立長万部中学校グラウンド」 小隊訓練・小型ポンプ操法出場 団員 75名出場
8月 3日	庶務係	おしゃまんべ消防フェス2019開催 参加者 218名 団員 35名 職員 20名
8月 24日 ～ 8月 31日	警防係	第3回消防団員定期訓練 団員 34名
9月 9日	救急係	救急医療週間「救急の日」
10月 15日 ～ 10月 31日	予防係	全道秋の火災予防運動 (第4回消防団員定期訓練) 団員 67名 職員 13名
10月16日	救急係	長万部小学校(教員対象) 救命講習 受講者 17名 職員 3名
11月 9日	警防係	119番の日
11月 9日 ～ 11月 15日	予防係	全国秋の火災予防運動
11月 17日	警防係	令和元年度新入団員教育訓練 団員 4名
12月 6日	庶務係	第2回長万部町消防団幹部会議 団員 14名 署員 7名
12月 26日 ～ 12月 30日	警防係	第5回消防団員定期訓練 団員 49名
1月 5日	庶務係	平成31年長万部町消防出初式 団員 63名 職員 19名
3月 1日 ～ 3月 7日	予防係	全国春の火災予防運動
2月 9日 ～ 3月 15日	警防係	第6回消防団員定期訓練 団員 36名

4 消防組織と現有力

(1) 消防組織図

署 は兼務



(2)職員の配置

令和2年3月31日 現在

階級別 配置別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
消防長	1						1
署長		1					1
庶務係	1*	1*	1	1		2	4*
予防係			1		2	1	5*
救急係	1*	1*	1			2	4*
警防係			1	1		3	6*
計	1	3	4	2	2	8	20

* 救急・警防担当及び庶務・予防担当は司令兼務。

(3)職員の年齢

令和2年3月31日 現在

階級別 配置別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
55才以上	1	1					2
50才以上		1					1
45才以上		1	1				2
40才以上			3	1			4
35才以上				1			1
30才以上							0
25才以上					2	4	6
20才以上						4	4
20才未満							0
計	1	3	4	2	2	8	20
平均年齢	58.0	51.0	43.2	39.0	28.3	24.1	40.6

(4)職員の勤続年数

令和2年3月31日 現在

階級別 配置別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
30年以上	1						1
25年以上		3	1				4
20年以上			3				3
15年以上				2			2
10年以上					1		1
5年以上					2	4	6
5年未満						3	3
計	1	3	4	2	3	7	20
平均年数	29.0	31.0	23.5	17.5	9.0	4.1	17.3

(5)職員資格技能取得者

令和2年3月31日 現在

階級別 資格別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
大型自動車	1	3	4	2	3	7	20
中型自動車							0
準中自動車							0
普通自動車							0
大特自動車	1	1				1	3
けん引自動車	1						1
特殊無線免許	1	3	4	1	1	2	12
危険物取扱者	1	3	4	2	1		11
消防設備士			1				1
救急救命士	1	2	4	1	1	4	13
応急手当指導員	1	3	4	2	3	3	16
自動車整備士				1			1
玉掛け及び小型移動式クレーン	1			1		1	3
車両系建設機械運転技能	1	1				1	3
特定科学物質等作業主任者		1					1
酸素欠乏危険作業		2	4	1			7

(6)職員消防学校入校状況

令和2年3月31日 現在

階級別 資格別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	計
初任教育	1	3	4	2	3	7	20
救急Ⅱ課程		1					1
救急標準課程							0
救急科				1	2	2	5
救助科		1		1	1		3
警防科			1	1			2
指揮隊長課程		2					2
危険物科			1				1
火災調査課程			3		1		4
予防査察科			2		1		3
はしご自動車		1					1
救急救命士	1	2	4	1			8
消防大学校		2					2
気管挿管		2	4	1	1	1	9
薬剤投与		2	4	1	1	3	11
ビデオ喉頭鏡		2	4	1	1	1	9
処置拡大2行為		1	4	1	1	1	8

(7)団員の配置

令和2年3月31日 現在

階級別 配置別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	2	1	2	3	5	41	55
長万部分団			1	3	5	15	29	53
国縫分団			1	1	2	3	9	16
静狩分団			1	1		1	4	7
中ノ沢分団			1	1	1	1	3	7
双葉分団			1	1	1	3	3	9
計	1	2	6	9	12	28	89	147

(8)団員の年齢

令和2年3月31日 現在

階級別 年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
65才以上	1	2	3	1	4	2	4	17
60才以上			2	3	2	2	5	14
55才以上			1	2	2	1	2	8
50才以上				1		7	3	11
45才以上				1	2	11	6	20
40才以上				1	2	4	17	24
35才以上						1	19	20
30才以上							20	20
25才以上							5	5
20才以上							7	7
20才未満							1	1
計	1	2	6	9	12	28	89	147
平均年齢	71.0	69.5	63.8	57.3	57.3	50.1	39.3	45.6

(9)団員の勤続年数

令和2年3月31日 現在

階級別 勤続年数別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
30年以上	1	2	6	5	5	3		22
25年以上				1	3	7		11
20年以上				3	1	9	2	15
15年以上						3	3	6
10年以上						1	11	12
5年以上					3	5	29	37
5年未満							44	44
計	1	2	6	9	12	28	89	147
平均年数	52	38.5	38.5	29.0	24.5	21.3	6.07	14.0

(10) 団員の退職報償金(R2.3.31現在)

(単位:千円)

勤続年数 階級	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団長	239	344	459	594	779	979
副団長	229	329	429	534	709	909
分団長	219	318	413	513	659	849
副分団長	214	303	388	478	624	809
部長・班長	204	283	358	438	564	734
団員	200	264	334	409	519	689

(11) 団員の報酬

ア 年報酬

階級	金額
団長	74,000
副団長	61,000
分団長	43,000
副分団長	39,000
部長	34,000
班長	29,000
団員	25,000
機能別団員	20,000

イ 出動報酬

種別	金額
火災出動	5,000
災害出動	5,000
警戒出動	4,500
訓練出動	4,000
査察等	4,000

5 消防施設等の現況



消防本部庁舎（平成15年竣工）

(1) 消防施設概況

長万部町消防本部（署）			
所 在 地	北海道山越郡長万部町字長万部450番地21		
竣 工	平成15年10月30日	構 造	鉄筋コンクリート造2階建一部塔屋
電 話 番 号	01377-2-2049	F A X	01377-2-5260
敷 地 面 積	3,318.0 m ²	庁舎面積	1,100.3 m ²

長万部分団4部機械器具置場			
所 在 地	北海道山越郡長万部町字長万部390番地6		
竣 工	昭和63年5月28日	構 造	木造平屋
電 話 番 号	無	F A X	無
敷 地 面 積	264.44 m ²	庁舎面積	45.54 m ²

国縫分団機械器具置場

所在 地	北海道山越郡長万部町字国縫37番地1		
竣工	平成30年12月18日	構造	木造平屋
電話番号	01377-5-2331	FAX	無
敷地面積	1,636.61 m ²	庁舎面積	91.95 m ²

静狩分団機械器具置場

所在 地	北海道山越郡長万部町字静狩21番地		
竣工	昭和59年8月25日	構造	木造平屋
電話番号	01377-6-2322	FAX	無
敷地面積	231.40 m ²	庁舎面積	83.63 m ²

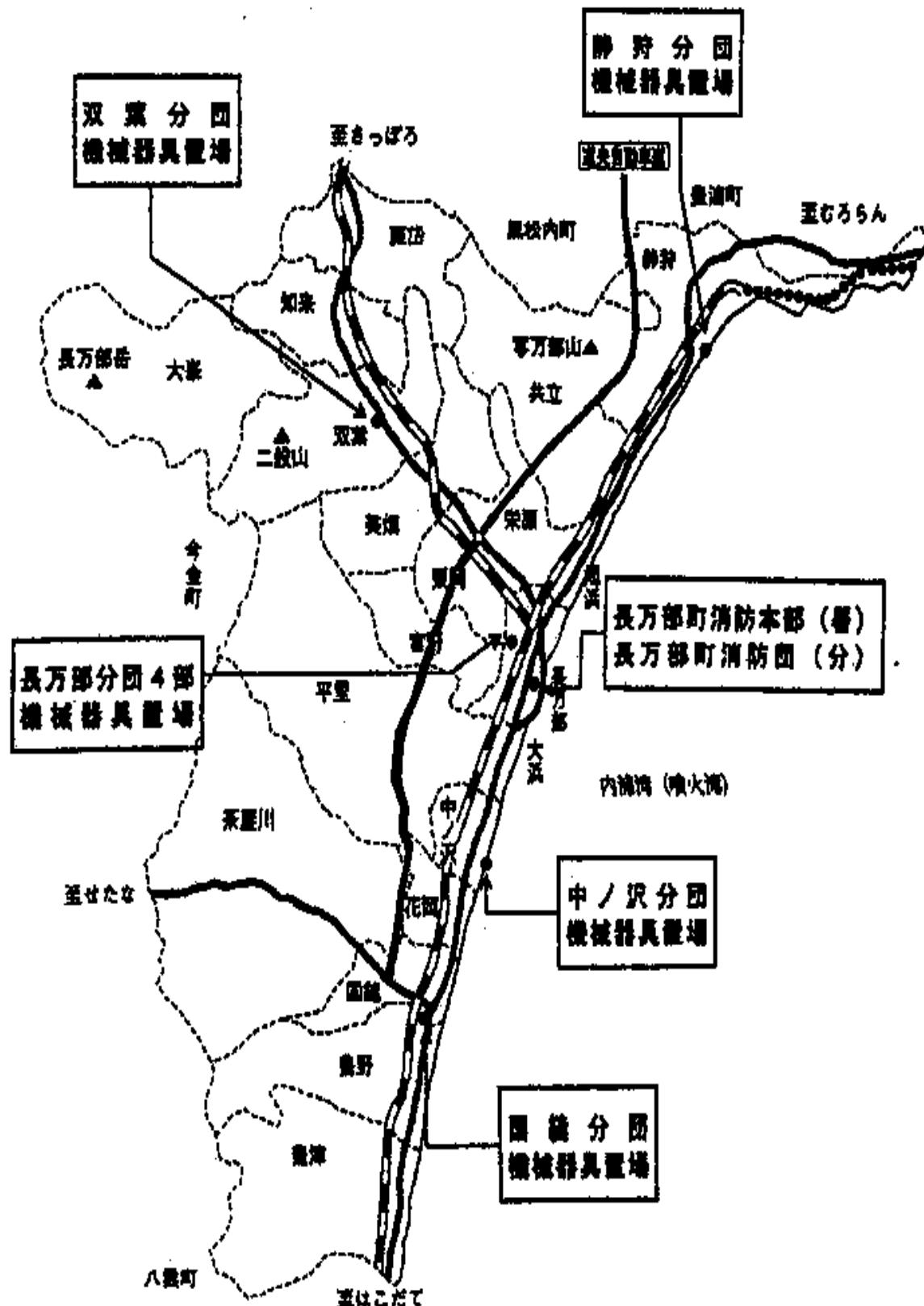
中ノ沢分団機械器具置場

所在 地	北海道山越郡長万部町字中ノ沢41番地1		
竣工	平成2年10月30日	構造	木造平屋
改築	平成9年10月27日		
電話番号	無	FAX	無
敷地面積	503.00 m ²	庁舎面積	53.82 m ²

双葉分団機械器具置場

所在 地	北海道山越郡長万部町字双葉91番地16		
竣工	昭和59年11月15日	構造	木造平屋
電話番号	無	FAX	無
敷地面積	153.32 m ²	庁舎面積	20.70 m ²

(2) 消防施設位置図



6 消防予算

(1) 人口・世帯数に対する消防職団員の推移(消防本部設立以降)

区分年	世帯数 (世帯)	人口 (人)	職員数 (人)	人口比率 (%)	団員数 (人)	人口比率 (%)	備 考
昭和23年	2,211	11,827	1	0.01	200	1.69	消防本部設立
昭和25年	2,512	13,401	2	0.01	200	1.49	職員1名増員
昭和27年	2,551	13,898	4	0.03	200	1.44	職員2名増員
昭和28年	2,614	14,450	6	0.04	200	1.38	職員2名増員
昭和29年	2,624	14,559	7	0.05	200	1.37	職員1名増員
昭和30年	2,939	15,115	8	0.05	200	1.32	職員1名増員
昭和39年	3,443	17,173	8	0.05	200	1.16	人口最高
昭和40年	3,795	16,938	10	0.06	200	1.18	職員2名増員
昭和44年	3,622	13,740	11	0.08	200	1.46	職員1名増員
昭和48年	3,507	12,583	13	0.10	200	1.59	職員2名増員
昭和49年	3,478	12,280	13	0.11	200	1.63	消防署設立
昭和50年	3,448	12,011	15	0.12	200	1.67	職員2名増員
昭和59年	3,385	10,345	15	0.14	180	1.74	団員定数改正
昭和61年	3,244	9,727	15	0.15	180	1.85	人口1万割る
昭和63年	3,685	9,610	15	0.16	150	1.56	団員定数改正
平成 4年	3,630	8,888	17	0.19	150	1.69	職員2名増員
平成 9年	3,568	8,193	20	0.24	150	1.83	職員3名増員
平成11年	3,542	7,954	20	0.25	150	1.89	人口8千割る
平成17年	3,177	6,900	20	0.29	150	2.17	人口7千割る
平成20年	3,127	6,495	20	0.31	150	2.31	
平成21年	3,136	6,386	20	0.31	150	2.35	
平成22年	3,074	6,235	20	0.32	150	2.41	3月31日現在
平成23年	3,029	6,094	20	0.33	150	2.46	3月31日現在
平成24年	3,009	5,968	20	0.34	150	2.51	人口6千割る
平成25年	3,037	5,909	20	0.34	150	2.54	3月31日現在
平成26年	2,996	5,745	20	0.35	150	2.61	3月31日現在
平成27年	2,997	5,673	20	0.35	150	2.64	3月31日現在
平成28年	2,937	5,462	20	0.37	150	2.75	3月31日現在
平成29年	2,892	5,320	20	0.38	150	2.82	3月31日現在
平成30年	2,895	5,282	20	0.38	150	2.84	3月31日現在
平成31年	2,969	5,234	20	0.38	147	2.81	3月31日現在

※人口は国勢調査並びに住民基本台帳調、職団員については条例定数調

(2)町勢と消防現勢比率

令和元年

区分／町勢	人口	5,234人	世帯数	2,969世帯	面積	310.76 km ²
職員1人当り	20人	261.7人 0.4%		148.5世帯		15.5 km ²
団員1人当り	147人	35.6人 2.8%		20.2世帯		2.1 km ²
消防車1台当り	9台	581.6人 0.2%		329.9世帯		34.5 km ²

※人口・世帯数・職団員数にあっては令和元年3月31日現在

(3)一般会計に対する消防費比率

年度／区分	一般会計	消 防 費	消防費比率	人口当りの消防費	世帯当りの消防費
平成20年度	3,577,000千円	175,775千円	4.9%	27,525円	56,051円
平成21年度	3,692,000千円	180,143千円	4.9%	28,209円	57,443円
平成22年度	3,832,000千円	179,206千円	4.7%	29,406円	59,163円
平成23年度	3,775,000千円	195,580千円	5.2%	32,771円	64,998円
平成24年度	3,920,000千円	194,386千円	5.0%	32,571円	64,602円
平成25年度	3,864,000千円	198,463千円	5.1%	34,545円	66,242円
平成26年度	4,247,000千円	399,734千円	9.4%	69,579円	133,423円
平成27年度	4,070,000千円	187,306千円	4.6%	35,786円	63,087円
平成28年度	4,276,000千円	191,583千円	4.5%	36,604円	64,528円
平成29年度	4,216,000千円	256,162千円	6.1%	48,942円	86,279円
平成30年度	4,664,000千円	194,161千円	4.2%	37,096円	65,396円

(4)令和元年度(平成31年度)消防費決算額内訳

(単位:千円)

決算額	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	訓練大会諸費
180,705	155,919	10,171	12,707	1,908

(5)令和2年度消防費予算額内訳

(単位:千円)

予算額	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	
195,016	157,664	12,475	24,877	

第

予
—

防
章

関

係

1 火災予防査察

(1) 防火対象物の査察状況

令和元年

項目	用途	対象数	査察実施	指摘件数	点検報告	報告率(%)
1 口	公会堂・集会場	2	4	12	2	100
2 イ	キャバレー・クラブ・カフェ等					
	遊技場・ダンスホール	1	2	1	1	100
3 イ	待合・料理店等					
	飲食店	11	11	19	7	64
4	百貨店・マーケット	12	7	18	7	58
5 イ	旅館・ホテル・宿泊所	15	18	20	8	53
	寄宿舎・下宿・共同住宅	40			16	40
6	イ 病院・診療所・助産所	4	5	5	2	50
	口 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム等	3	6	4	3	100
	ハ 老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等	4	7	2	4	100
	ニ 幼稚園・特別支援学校	1	2	1	1	100
7	小・中・高・その他の学校	6	5	4	4	67
8	図書館					
9 口	公衆浴場	1				0
10	車両の停車場等の発着場	1			1	100
11	神社・寺院・教会	13	10	10	7	54
12 イ	工場・作業場	35	14	24	13	37
13 イ	自動車車庫	3			2	67
14	倉庫	10			3	30
15	その他の事業場	50	10	6	38	76
16 イ	複合用途(特定を含む)	13	14	19	9	69
	口 複合用途(上記以外の対象物)	7				0
合 計 (報告率については平均)		232	115	145	128	55

(2) 一般家庭の防火査察状況

令和元年

査察戸数	指導件数	改善指導事項						
		ストーブ	煙突	ガス器具	ボイラー等	給湯器	住警器	その他
1137件	119件	4			2		111	2

2 建築同意件数状況

令和元年

種別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
種 別	新築						1		2	2	2			7
	増改築											1		1
	用途変更等											1		1
同意件数							1		2	2	3	1		9
用 途 別 棟 数	住宅													0
	集会場													0
	旅館・ホテル													0
	共同住宅								1	2	2			5
	店舗													0
	自動車車庫													0
	倉庫									1		1		2
	複合用途16項目													0
	その他						1				1			2

3 危険物施設の状況

種別 区別	貯 �藏 所							取 扱 所		計
	屋 内 貯蔵所	屋 外 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	給 油 取扱所	一 般 取扱所		
施設数			4	4	23	12	8	3	54	
事務 処理 の状況	設置許可申請数					1				1
	変更許可申請数					1				1
	完成検査					2				2
	廃止届					1	1			2
査 察 数	査察延件数		2	4	16	19	8	3	52	
	指摘件数					7	9			16

4 諸願届出処理状況

令和元年

区分	関係法令によるもの				条例によるもの			その他		
	防火管理 者選任	消防計 画作成 (変更) 届	消防用設備等 点検報告	消防用設備等設置 届	防火対象物使用開始 届	少量危険物貯蔵取扱 届	煙火打上届	罹災證明	火入通知書	その他
合計	9	11	128	9	4	6	11	3		21

5 避難訓練・講習会等の実施状況

令和元年

区分 項	防火対象物別		実施回数 (自衛消防訓練)	訓練内容		講習会	参加人数
				総合	部分		
1 口	公会堂又は集会場						
2 口	遊技場						
4	百貨店・マーケット		3	1	2		33
5 イ	旅館・ホテル・宿泊所						
6	イ	病院・診療所		2	2		25
	口	老人短期入所施設・児童福祉施設		4	4		153
	ハ	老人デイサービス・軽費老人ホーム		14	11	3	848
	二	幼稚園		3	2	1	135
7	小中高大学校		5	2	3		747
10	車輌の停車場等の発着場		1		1		10
11	寺社・寺院等		1	1			30
12 イ	工場・作業所					1	31
15	前各項に該当しない事業所		2	1	1		35
16 イ	複合用途(特定を含む)		2	1	1		70
合 計			37	25	12	1	2,117

6 中高層建築物の現況

令和元年

用途別	階数	3階	4階	5階	計
		1			1
1項口	公会堂	1			1
3項口	飲食店	1			1
5項イ	ホテル	1			1
5項口	寄宿舎	3			3
	共同住宅	8		1	9
6項イ	病院	1			1
7項	学校	3			3
15項	事業所	4			4
合計		22		1	23

※ 防火対象物を記載

7 消防関係機関の状況

(1) 消防後援会等

名 称	設立年月日	会員数	会長名
国縫自治会	昭和47年 4月 1日	160	廣澤範夫
静狩振興会	昭和43年 6月25日	135	村田定雄
中ノ沢消防後援会	昭和35年 6月 1日	58	山田健一
双葉消防後援会	昭和43年 5月 4日	35	本間 隆

(2) 危険物安全協会

平成31年4月1日

名 称	設立年月日	会員事業所数	会長名
長万部町危険物安全協会	昭和63年 4月 1日	24	齋藤好彦

(3) 婦人防火クラブ

平成31年4月1日

名 称	設立年月日	会員数	会長名
富野婦人防火クラブ	平成 6年 4月 1日	20	小野ゆう子
豊津婦人防火クラブ	平成 6年 4月 1日	4	小山内洋子

(4) 少年消防クラブ

平成31年4月1日

名 称	設立年月日	会員数	会長名
長万部町元町少年消防クラブ	平成 6年 4月 1日	0	児童減少により活動休止中

第

三

章

救

急

關

係

警
防

1 火災・救急・救助出動状況

(1) 火災出動状況

区分 月別	火災種別						出動車両						出動人員				
	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	そ の 他	計	タ ン ク 車	ポン プ 車	積 小 型 載 ボ ン プ 車	指 令 車	救 急 車	救 急 車	機 防 能 隊 別	消 防 職 員	消 防 団 員	計	
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4月	0	0	0	0	2	2	3	0	1	2	0	1	0	7	13	17	30
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	1	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	3	4	12	16
7月	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	4	0	4
8月	1	0	0	0	0	1	3	0	1	1	1	1	0	7	13	43	56
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	1	0	2	5	9	0	3	4	1	2	0	19	34	72	106

(2) 救急出動状況

区分 月別	事 故 種 別										合 計	不 搬 送	搬 送 先		出動車両			
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	劳 灾	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病			町 内 病 院	町 外 病 院	救 急 1 号 車	救 急 2 号 車	予 備 救 急 車	
1月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10	3	14	2	11	1	13	1	0
2月	0	0	0	3	0	0	1	0	0	13	6	23	3	13	7	18	5	0
3月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	10	6	18	1	12	5	15	3	0
4月	0	0	0	3	0	0	3	0	0	8	8	22	1	13	8	16	6	0
5月	0	0	0	2	0	0	2	0	1	16	9	30	2	20	8	24	6	0
6月	0	0	0	2	0	0	1	0	0	11	7	21	1	14	6	17	4	0
7月	0	0	0	3	1	0	5	0	0	7	8	24	0	16	8	17	7	0
8月	1	0	0	1	0	0	3	0	0	10	7	22	1	15	6	18	4	0
9月	0	0	0	0	2	0	2	0	0	16	8	28	0	19	9	22	6	0
10月	0	0	0	1	2	1	1	0	0	14	5	24	0	18	6	18	6	0
11月	0	0	0	1	1	0	1	0	0	12	5	20	2	15	3	17	3	0
12月	0	0	0	3	0	0	4	0	0	8	10	25	1	13	11	14	11	0
合計	1	0	0	19	7	2	24	0	1	135	82	271	14	179	78	209	62	0

(3) 救助出動状況

令和元年

区分 月別	事故種別									件数		出動人	出動車両			使用資機材			
	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	酸ガス漏洩	爆発事故	その他	出動件数	活動件数		タンク車	指令車	その他	油圧器具	三連梯子	エンジンカッター	その他
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	
5月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	2	0	0	0	
6月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	
7月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	1	0	0	0	
8月	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	56	3	1	3	0	0	0	
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	1	0	1	0	0	0	
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12月	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	2	0	3	0	0	0	
合計	1	7	0	0	0	0	0	0	0	1	9	9	72	11	1	13	0	0	

(4) 災害等の出動状況

令和元年

区分 月日	災害出動等の概要	出動人員			出動車両					
		署員	団員	計	指令車	1号車	2号車	3号車	救急車	その他

2 救急講習等の受講及び実施状況

(1) 署員の受講状況

年月日	講習会等の名称	場所	出席者数
1月 22日	道南圏MC協議会救急講習	乙部町	2
3月 5日	道南ドクターへリ事例検討会	八雲町	4
3月 15日	救命止血帯(ターニケット)取扱い講習	江別市	1
5月 17日	第30回北海道救急医学会救急隊員部会総会・研修会	恵庭市	1
5月 23日	道南圏MC協議会救急講習	函館市	3
6月 16日	気管挿管再認定講習	函館市	1
6月 19日	道南圏MC協議会救急講習	函館市	2
6月 21日	ビデオ硬性喉頭鏡気管挿管病院実習	函館市	1
7月 1日	処置拡大2行為講習	札幌市	1
7月 25日	道南ドクターへリ事例検討会	函館市	3
8月 21日	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定講習	札幌市	1
9月 23日	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	函館市	1
9月 26日	道南圏MC協議会救急講習	函館市	4
10月 23日	道南圏MC協議会救急講習	函館市	2
10月 25日	第43回北海道救急医学会学術集会	札幌市	1
11月 13日	救急技術向上訓練	函館市	4
8月 21日	三町合同救命士会研修会	森町	4
11月 20日	北海道小児救急医療地域研修会	函館市	2
11月 28日	道南ドクターへリ事例検討会	今金町	4
12月 16日	気管挿管再認定講習	函館市	2

(2) 一般市民の受講状況

区分 月 日	講習別参加人数						対象団体等	指導署員数
	一般救急講習	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習	指導員講習	上級救命講習再講習		
2月12日	28						北勝水産(中国人研修生)	5
5月24日	18						グループホーム平里の家(職員)	3
5月29日	22						長万部町立さかえ保育所(職員)	3
6月19日	10						長万部慈恵園(職員)	3
6月21日	75						東京理科大学(学生)	3
7月31日	8						B G塾「防災講座」(小学生・教師)	3
9月20日		1					長万部高等学校(インターンシップ学生)	6
10月2日	5						長万部慈恵園(職員)	2
10月16日	17						長万部町立長万部小学校(職員)	3
11月27日	20						長万部町立さかえ保育所(職員)	2
計	203	1	0	0	0	0		33

3 車両・機械機材等の現況

(1) 消防車両・機械器具の装備状況

区分 所属	名称	メーカー名	年式 (年)	出力 KW (PS)	ポンプ型式	級別 (型別)	登録年月日	積載資機材									積載ホース			
								無線装置	エンジンカッタ	泡消火剤 (L)	粉末消火器	照明発電機	携帯拡声器	空気呼吸器	梯子	ジェットショーター	油圧救助資機材	65mm	50mm	
消防署	大型水槽車	日野	H30	272 (370)	VF-63AS-Ti	B-2	H30.3.15	2		60	1	1	1	2		5		11	5	
	1号タンク車	日野	H21	221 (300)	NWT-30-2	A-2	H21.10.20	2	1	120	1	1	1	4	2	7	1	14	22	
	指令車	トヨタ	H11	(185)			H11.6.18	1			1		1							
	救急1号車	トヨタ	H21	111 (151)			H21.9.30	2			1									
	救急2号車	トヨタ	H25	111 (151)			H25.9.27	2			1									
	2号タンク車	いすゞ	S61	(175)	モリタME-5 高速2段	A-2	S61.8.29	2	1	100	1	1	1	4	2	6	1	6	10	
長万部分団	3号ポンプ車	いすゞ	S63	(175)	モリタME-5 高速2段	A-2	S63.8.29	2			1	1	1		2			33		
	4号積載車	三菱	H3	(120)	シバウラTF-55EGS	B-2	H3.11.16				1		1		1			16		
国縫分団	国縫積載車	いすゞ	H23	110 (150)	トーハツVC72PROⅡ	B-2	H24.2.24				1	1	1		1			24		
静狩分団	静狩ポンプ車	いすゞ	H26	110 (150)	モリタME-5 高速2段	A-2	H26.11.10		1		1		1		1		1	25		
中ノ沢分団	中ノ沢積載車	トヨタ	H15	(91)	シバウラTF-745M・H	B-2	H15.7.28				1	1	1		1			28		
双葉分団	双葉積載車	ダイハツ	H8	(42)	トーハツV56BS-CD	B-3	H8.6.28				1		1		1			12		
団本部	機能別消防隊	トヨタ	S60	85	シバウラTF-35MED	B-3	S60.12.23				1	1			1			16		
合計	14台								13	3	280	13	7	10	10	12	18	3	185	37

(2) 消防資器材の整備状況

	消防用ホース		消防団員用防火服	油圧救助器具（電動式含む）	バスケットストレッチャー	空気呼吸器	空気ボンベ	エンジンカッター	チエーンソー	発電機	投光器	ジエットシューター	化学消火薬剤（本）	酸素ボンベ	携帯拡声器	油中和薬剤	土のう袋	
	50mm	65mm																
長万部町消防本部（署）	112	107	12	3	1	10	23	2	1	4	5	18	18	22	5	4	570	
長万部4部機械器具置場		12	12													1		1870
国縫分団機械器具置場		24	19								1	1				1		200
静狩分団機械器具置場		22	18	1				1	1							1		205
中ノ沢分団機械器具置場		26	14								1	1				1		450
双葉分団機械器具置場		12	6													1		129
機能別消防隊		12	5								1	1						
合計	112	215	86	4	1	10	23	3	2	7	8	18	18	22	10	4	3424	

※消防用ホース、団員防火服については車両積載分を含む。

4 通信設備装置等の概況

(1) 一般電話・携帯電話・専用電話等の設置状況

平成31年3月31日 現在

種 別	設備装置の概要	回線	設備年月日	業者種別
119番専用電話	119専用 長万部	2	昭和44年01月25日	NTT東日本
	119専用 国縫	2	昭和52年03月30日	NTT東日本
	119専用 静狩	2	昭和53年05月15日	NTT東日本
	119専用 携帯	1	平成18年01月21日	NTT東日本
	119専用 I P	1	平成20年10月15日	NTT東日本
その他の通信回線	一般回線 長万部	1	昭和44年01月25日	NTT東日本
	一般回線 国縫	1	平成05年07月31日	NTT東日本
	一般回線 静狩	1	平成05年07月31日	NTT東日本
	光回線 I P	1	平成21年11月16日	NTT東日本
	FAX回線 ADSL	1	平成03年04月23日	NTT東日本
	衛星回線(受信専用)	1	平成02年07月10日	NTT東日本
	高速道路専用回線	1	平成09年10月01日	ネクスコ東日本
	携帯電話(救1積載)	1	平成11年02月16日	NTTドコモ
	携帯電話(救2積載)	1	平成08年01月01日	NTTドコモ
緊急通報システム	シルバーハウジング専用	1	平成14年08月01日	愛知時計
気象観測システム	気温/湿度/風速/降水量/積雪		平成15年10月30日	三協通信
デジタル無線システム (平成27年度より運用開始)	基地局(活動波1)	1	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
	基地局(活動波2)	1	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
※周波数の種類	基地局(主運用波)	1	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
活動波1 :本部用	基地局(統制波1~3)	1	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
活動波2 :サイレン用	移動局(車両系)	7	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
主運用波 :道共通波	可搬型移動局	1	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
統制波 :全国共通波	携帯局	10	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
	受令機	2	平成27年03月24日	ALINCO
簡易デジタル無線装置 (消防団専用)	トランシーバー型車載	6	平成27年03月24日	ICOM
	トランシーバー型携帯	30	平成27年03月24日	ICOM
サイレン遠隔吹鳴装置 (デジタル無線に更新)	親局	1	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
	子局	20	平成27年03月24日	富士通ゼネラル
防災用自家発電装置	出力 59.2KW	1	平成15年10月30日	ヤンマーエネルギー

(2)無線施設の状況(デジタル無線)

設置場所	種別	識別信号	活動波 1	活動波 2	主運用波 4	統制波 1・2・3
消防本部	基地局	おしゃまんべしょうぼう	○	○	○	○
消防本部	固定局 (遠隔吹鳴)	おしゃまんべしょうぼう		○		
元町		もとまち 1		○		
温泉		おんせん 1		○		
陣屋		じんや 1		○		
新開		しんかい 1		○		
大浜1		おおはま 1		○		
大浜2		おおはま 2		○		
旭浜1		あさひはま 1		○		
旭浜2		あさひはま 2		○		
曙		あけぼの 1		○		
南栄		みなみさかえ 1		○		
高砂		たかさご 1		○		
双葉		ふたば 1		○		
国縫1		くんぬい 1		○		
国縫2		くんぬい 2		○		
国縫3		くんぬい 3		○		
静狩1		しずかり 1		○		
静狩2		しずかり 2		○		
静狩3		しずかり 3		○		
中ノ沢		なかのさわ 1		○		
長万部本部	陸上移動局	おしゃまんべほんぶ	○	○	○	○
大型水槽車		おしゃまんべすいそう	○	○	○	○
1号タンク車		おしゃまんべたんく1	○	○	○	○
2号タンク車		おしゃまんべたんく2	○	○	○	○
3号ポンプ車		おしゃまんべぽんぶ1	○	○	○	○
指令車		おしゃまんべしれい	○	○	○	○
救急1		おしゃまんべきゅうきゅう1	○	○	○	○
救急2		おしゃまんべきゅうきゅう2	○	○	○	○
長万部救急		おしゃまんべきゅうきゅう	○	○	○	○
携帯無線1		けいたい1	○	○	○	○
携帯無線2		けいたい2	○	○	○	○
携帯無線3		けいたい3	○	○	○	○
携帯無線4		けいたい4	○	○	○	○
携帯無線5		けいたい5	○	○	○	○
携帯無線6		けいたい6	○	○	○	○
携帯無線7		けいたい7	○	○	○	○
携帯無線8		けいたい8	○	○	○	○
携帯無線9		けいたい9	○	○	○	○
携帯無線10		けいたい10	○	○	○	○

5 サイレン遠隔吹鳴装置の整備状況

平成31年3月31日 現在

項目	名称	設置場所	設置年月日
親局 1	本 部	字長万部450番地21 (消防本部)	平成04年11月10日
子局 1	本部1	字長万部450番地21 (消防本部)	平成22年01月20日
子局 2	元町1	字長万部452番地1 (旧消防本部)	平成22年01月20日
子局 3	温泉1	字長万部390番地6 (温泉器具置場)	平成04年11月10日
子局 4	高砂1	字長万部411番地28 (高砂振興会館)	平成11年07月08日
子局 5	南栄1	字長万部429番地137 (南栄小公園)	平成10年11月20日
子局 6	曙 1	字長万部 8番地1 (長万部小学校)	平成09年07月15日
子局 7	新開1	字長万部444番地10 (新開寿の家)	平成27年03月24日
子局 8	陣屋1	字長万部326番地4 (陣屋生活会館)	平成27年03月24日
子局 9	旭浜1	字 旭 浜 102番地1 (篠田宅所有地)	平成08年07月12日
子局 10	旭浜2	字 旭 浜 159番地19 (長万部漁港)	平成27年03月24日
子局 11	大浜1	字 大 浜 33番地2 (大山宅前)	平成08年07月12日
子局 12	大浜2	字 大 浜 80番地 (大中漁港)	平成27年03月24日
子局 13	国縫1	字 国 縫 171番地17 (国縫器具置場)	平成04年11月10日
子局 14	国縫2	字 国 縫 80番地2 (辻宅所有地)	平成06年11月16日
子局 15	国縫3	字 国 縫 602番地 (国縫漁港)	平成27年03月24日
子局 16	静狩1	字 静 狩 21番地28 (静狩器具置場)	平成04年11月10日
子局 17	静狩2	字 静 狩 96番地1 (佐藤宅所有地)	平成06年11月16日
子局 18	静狩3	字 静 狩 150番地2 (静狩漁港)	平成27年03月24日
子局 19	中ノ沢1	字中ノ沢 41番地12 (中ノ沢器具置場)	平成04年11月10日
子局 20	双葉1	字 双 葉 91番地6 (双葉器具置場)	平成04年11月10日

6 消防水利の状況

平成31年3月31日 現在

	消火栓			防火水槽			その他			計
	単口	双口	多雪	公設	私設	指定	海	河川	他	
長万部	91	1	1	8	2	2		2		107
国縫	13		3	1						17
静狩	14			3						17
中ノ沢	4		1	1						6
双葉	1		4							5
小計	123	1	9	13	2	2	0	2	0	152
合計	133			17			2			152

第四章

統計

1 火災統計

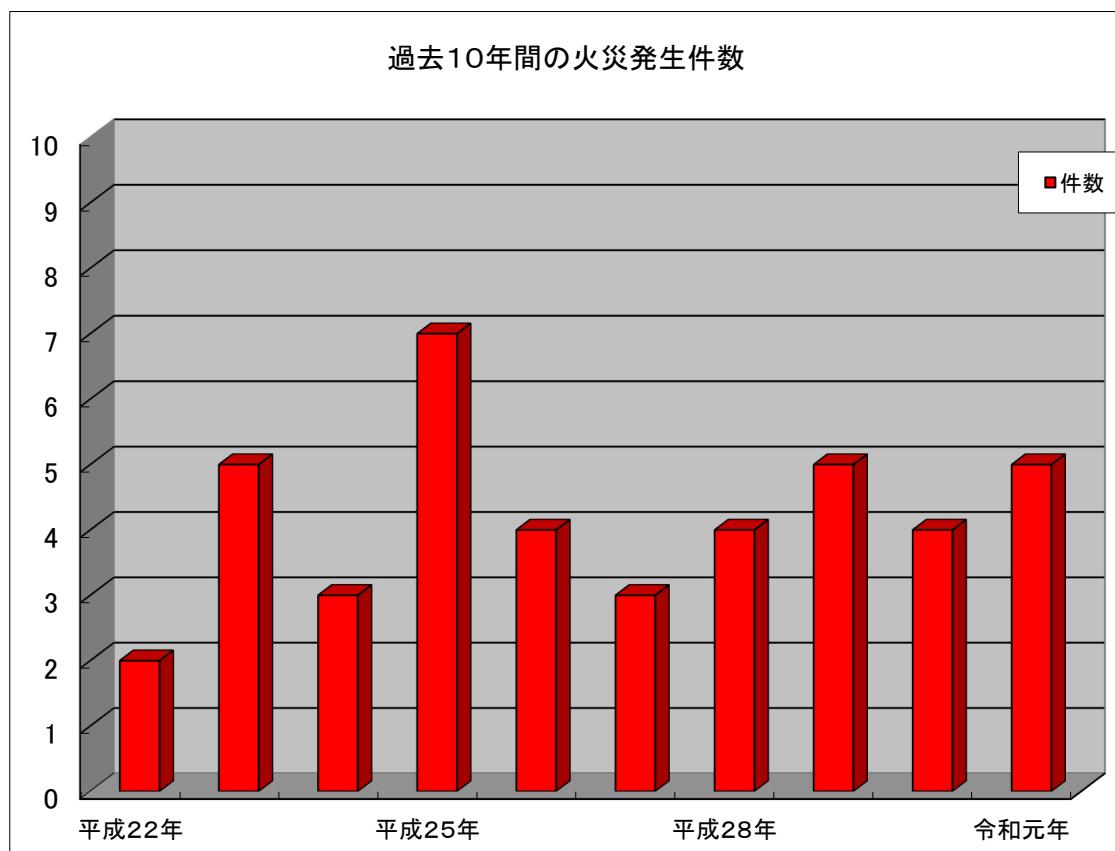
(1) 令和元年火災発生状況

区分 月別	火 灾 件 数						小 計	焼 損 棟 数				小 計	罹 災 者 数	罹 災 世 帯	死傷者		焼損面積		損 害 額 (千円)
	建 物 火 灾				林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	そ の 他	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や			死 者	傷 者	建 物 (m ²)	林 野 等 (m ²)	
	全 燒	半 燒	部 分 燒	ぼ や															
1月																			
2月																			
3月																			
4月									2	2									
5月																			
6月	1								1	1			1				21.44		495
7月					1				1										500
8月		1							1		1		1	2	1	1	34.22		3,578
9月																			
10月																			
11月																			
12月																			
合 計	1	1			1			2	5	1	1		2	2	1	1	55.66		4,573

(2) 過去10年間の火災発生状況

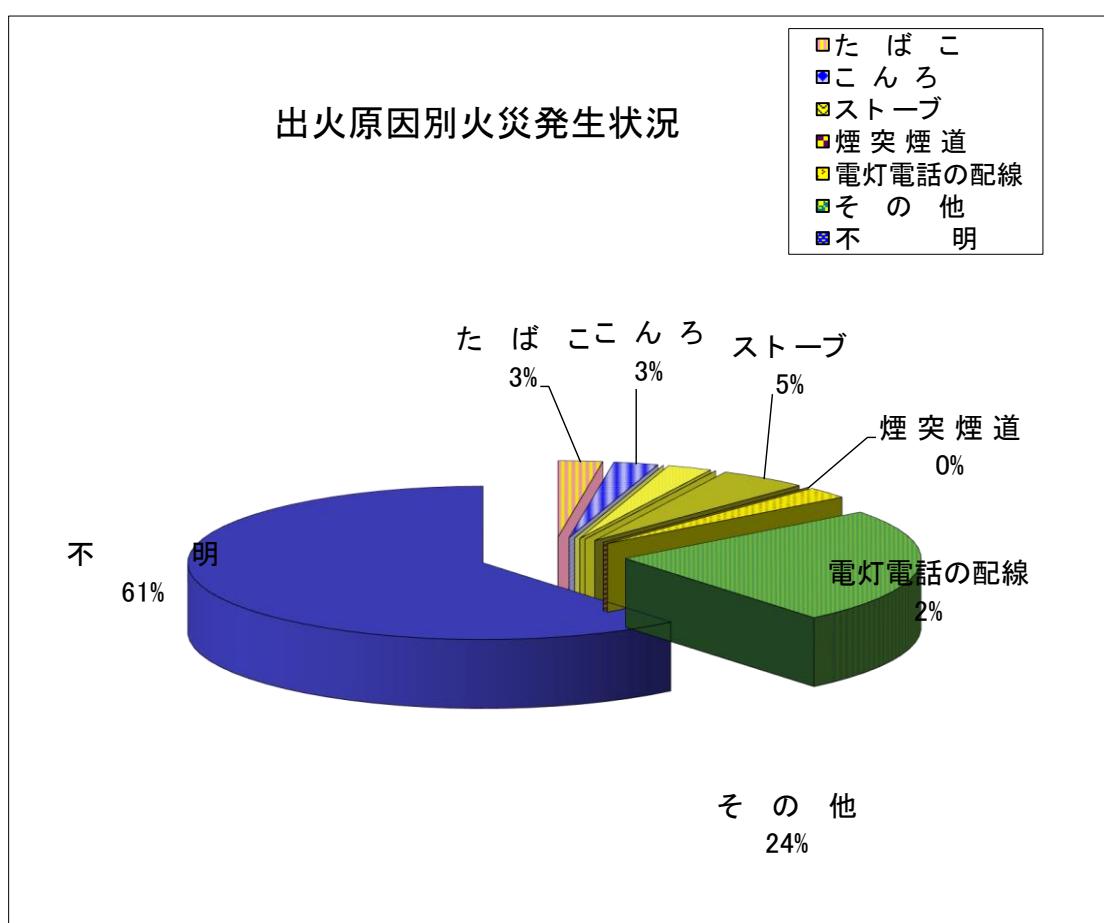
※カッコ内は類焼棟数

区分 年別	火災 件数	建物火災（棟）				車両 火災	林野 火災	船舶 火災	その 他	死傷者数		焼損面積 (m ²)	損害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや					死者	傷者		
平成22年	2	1				1			1			113.86	4,710
平成23年	5	2		1	1	1						116.98	4,366
平成24年	3	1		1	1							385.00	3,339
平成25年	7	3				3	1					196.23	8,283
平成26年	4	1				3						298.12	4,359
平成27年	3	1				1			1			28.35	1,899
平成28年	4	1				1			2			107.88	2,774
平成29年	5			2		2			1		1	42.00	423
平成30年	4	1	1						1			99.88	1,451
令和元年	5	1	1		1	1			2	1		55.66	4,573



(3) 出火原因別火災発生状況

原因 年別	火 災 件 数	た ば こ ん ろ	こ ん ろ	火 遊 び	火	放 火	放 火 の 疑	ス ト ー ブ	煙 突 煙 道	風 呂 ・ か ま ど	マ ッ チ ・ ライ タ ー	電 灯 電 話 の 配 線	そ の 他	不 明
平成22年	2												1	1
平成23年	5	1	1				1						1	1
平成24年	3												3	
平成25年	7												1	6
平成26年	4												1	3
平成27年	3												1	2
平成28年	4				1								1	2
平成29年	5													5
平成30年	4						1						1	1
令和元年	5													4
合 計	42	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	10	25	



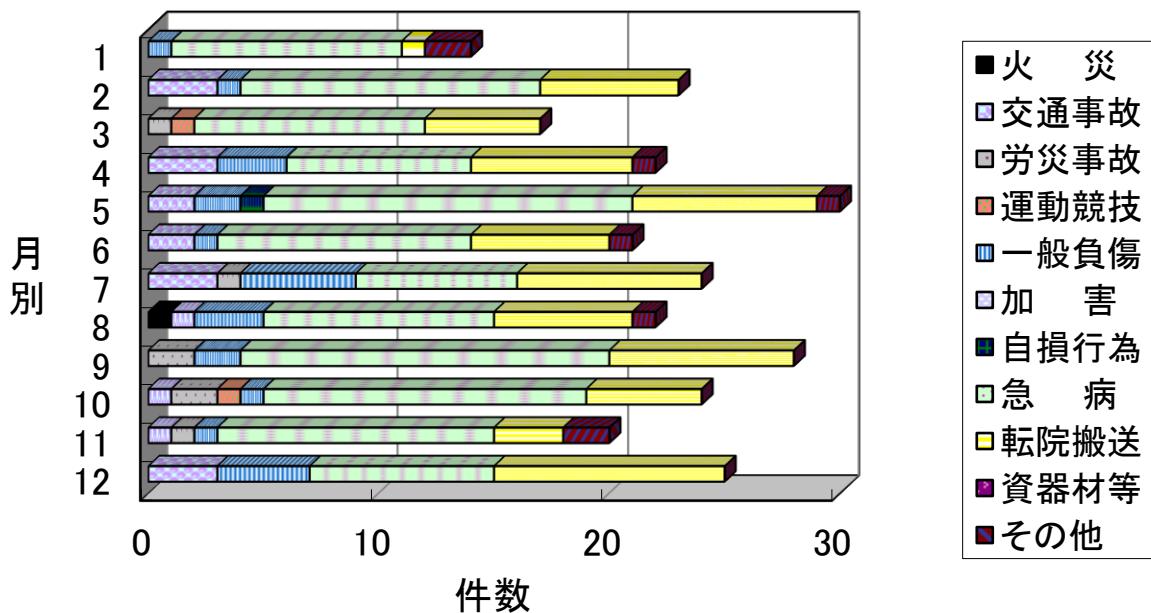
2 救急統計

(1) 令和元年救急件数

※下段は搬送人員

区分 月別	事故種別										その他				合 計
	火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
1月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10	1	0	0	2	14
	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10	1	0	0	0	12
2月	0	0	0	3	0	0	1	0	0	13	6	0	0	0	23
	0	0	0	1	0	0	1	0	0	12	6	0	0	0	20
3月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	10	5	1	0	0	18
	0	0	0	0	1	1	0	0	0	10	5	0	0	0	17
4月	0	0	0	3	0	0	3	0	0	8	7	0	0	1	22
	0	0	0	4	0	0	3	0	0	8	7	0	0	0	22
5月	0	0	0	2	0	0	2	0	1	16	8	0	0	1	30
	0	0	0	4	0	0	1	0	1	15	8	0	0	1	30
6月	0	0	0	2	0	0	1	0	0	11	6	0	0	1	21
	0	0	0	2	0	0	1	0	0	11	6	0	0	0	20
7月	0	0	0	3	1	0	5	0	0	7	8	0	0	0	24
	0	0	0	4	1	0	5	0	0	7	8	0	0	0	25
8月	1	0	0	1	0	0	3	0	0	10	6	0	0	1	22
	1	0	0	1	0	0	3	0	0	10	6	0	0	0	21
9月	0	0	0	0	2	0	2	0	0	16	8	0	0	0	28
	0	0	0	0	2	0	2	0	0	16	8	0	0	0	28
10月	0	0	0	1	2	1	1	0	0	14	5	0	0	0	24
	0	0	0	1	2	1	1	0	0	14	5	0	0	0	24
11月	0	0	0	1	1	0	1	0	0	12	3	0	0	2	20
	0	0	0	1	1	0	1	0	0	12	3	0	0	0	18
12月	0	0	0	3	0	0	4	0	0	8	10	0	0	0	25
	0	0	0	3	0	0	4	0	0	7	10	0	0	0	24
合計	1	0	0	19	7	2	24	0	1	135	73	1	0	8	271
	1	0	0	21	7	2	23	0	1	132	73	0	0	1	261

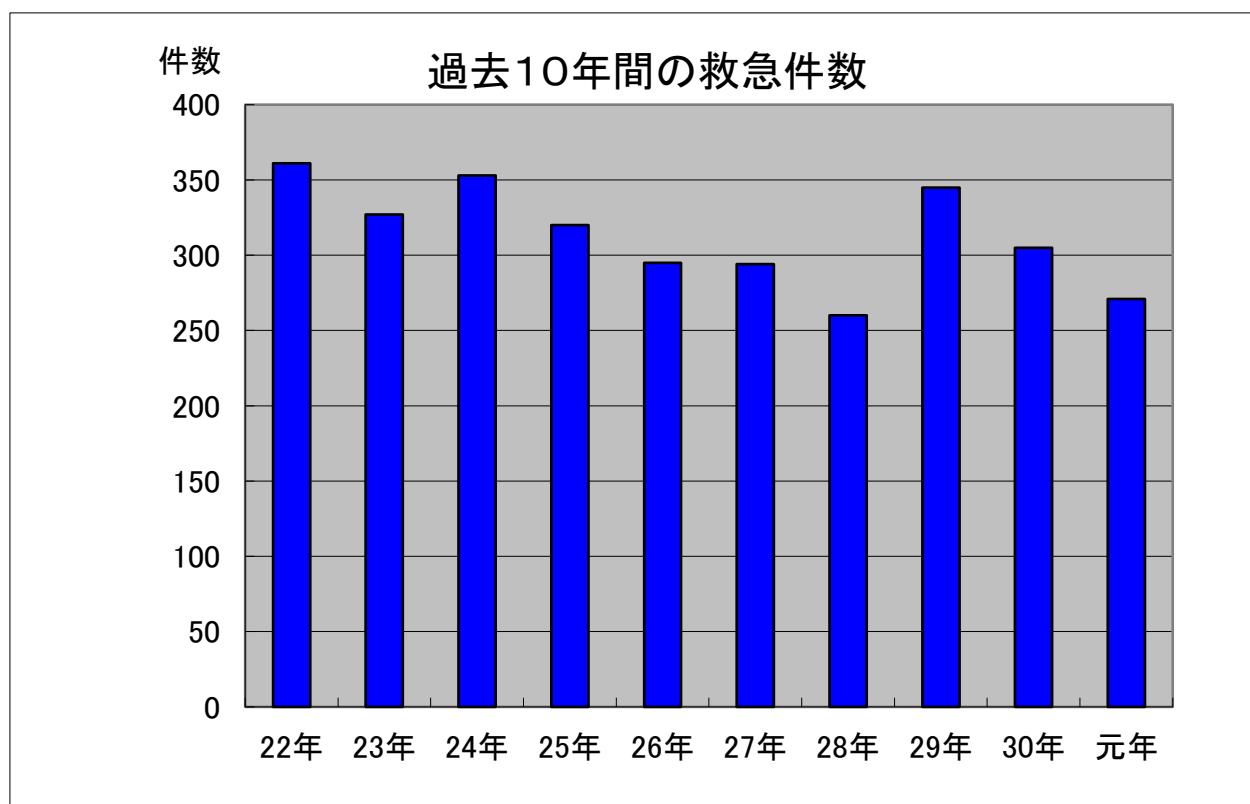
令和元年救急件数



(2) 過去10年間の救急件数推移

令和元年

区分 年別	事 故 種 別										その他の			合 計	
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	劳 灾 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等		
22年	0	0	0	30	4	0	36	1	4	174	91	0	2	19	361
23年	0	0	0	19	2	1	31	1	2	162	99	0	1	9	327
24年	0	1	0	24	9	1	19	0	2	192	95	0	0	10	353
25年	0	2	1	26	1	1	30	1	2	170	76	0	0	10	320
26年	0	0	0	29	2	0	28	0	3	160	63	0	0	10	295
27年	0	0	0	21	4	0	25	0	1	157	69	0	0	17	294
28年	0	0	0	19	7	3	28	0	5	130	54	0	0	14	260
29年	1	0	0	23	6	2	38	1	1	168	90	0	0	15	345
30年	0	0	0	21	9	1	25	1	0	166	67	0	0	15	305
元年	1	0	0	19	7	2	24	0	1	135	73	1	0	8	271
計	2	3	1	231	51	11	284	5	21	1614	777	1	3	127	3131



(3) 程度・年齢別搬送人員

ア 程 度 別

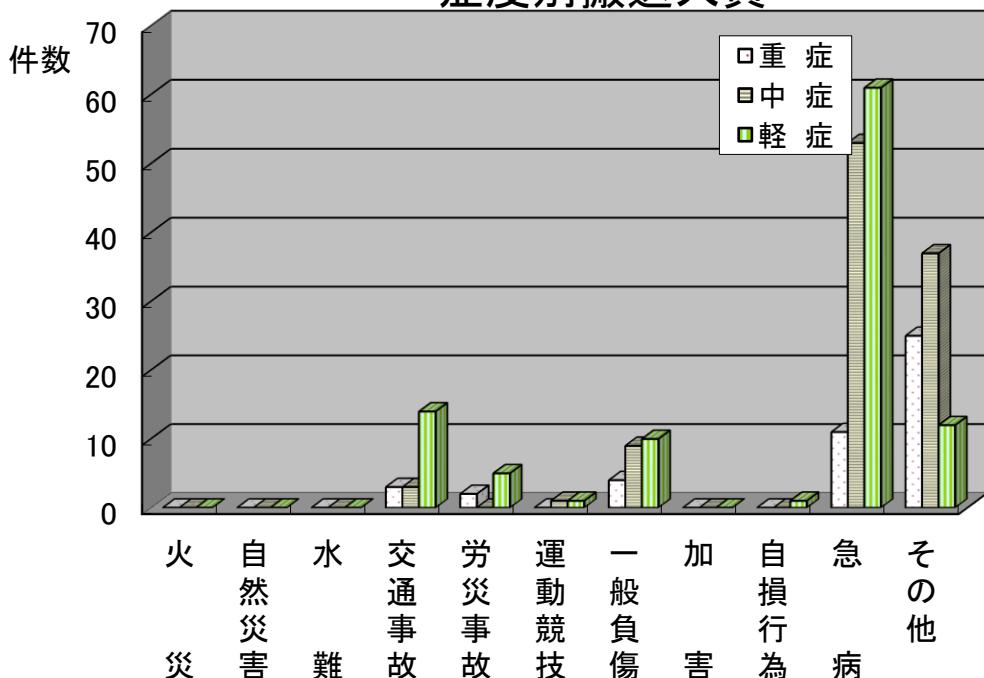
令和元年

種別 程度	事故種別										合 計
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 災 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	
死 亡	1	0	0	1	0	0	0	0	0	7	0
重 症	0	0	0	3	2	0	4	0	0	11	25
中 症	0	0	0	3	0	1	9	0	0	53	37
軽 症	0	0	0	14	5	1	10	0	1	61	12
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	0	0	21	7	2	23	0	1	132	74
											261

イ 年 令 別

種別 年齢区分	事故種別										合 計
	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 災 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳幼児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
少 年	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1
成 年	1	0	0	15	6	1	7	0	0	35	23
老 人	0	0	0	6	1	0	16	0	0	94	50
合 計	1	0	0	21	7	2	23	0	1	132	74
											261

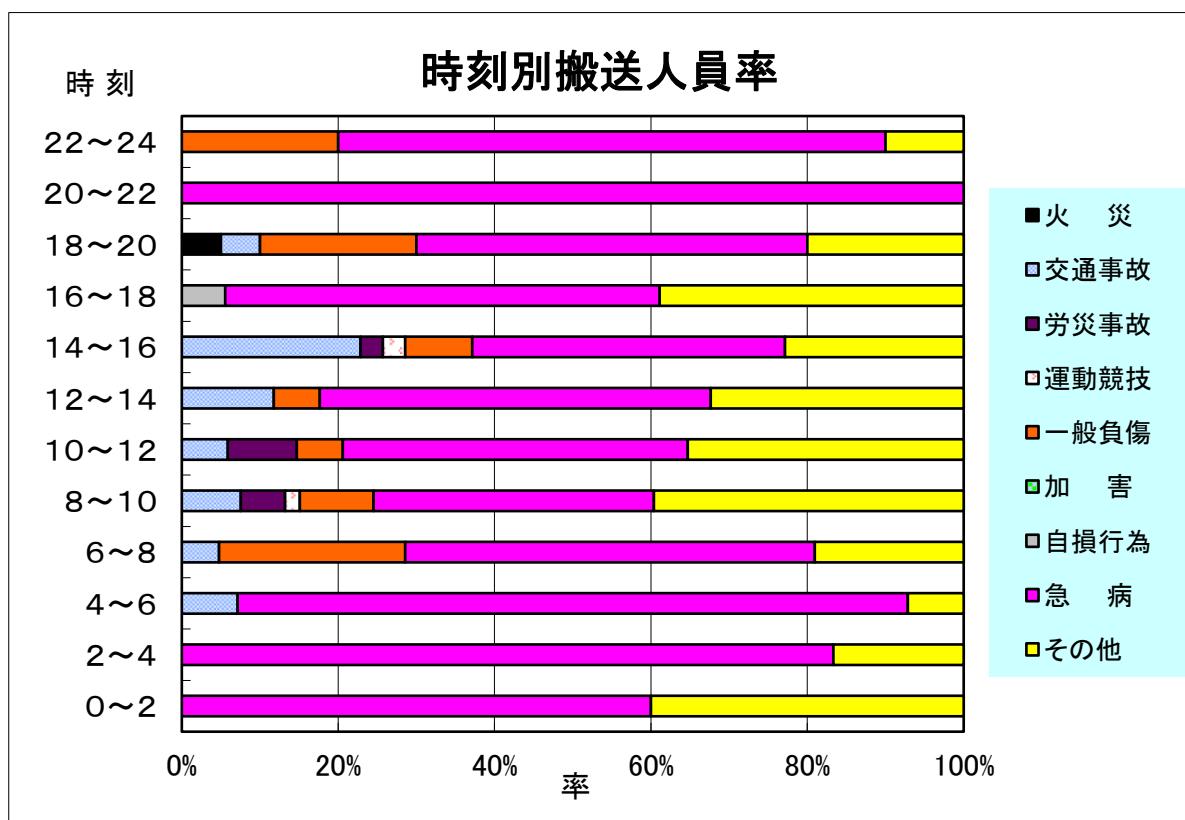
症度別搬送人員



(4) 時刻別搬送人員

令和元年

時刻	種別	事故種別										合計	
		火災	自然災害	水難	交通事故	労災事故	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病		
0~2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	4	10
2~4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	6
4~6		0	0	0	1	0	0	0	0	0	12	1	14
6~8		0	0	0	1	0	0	5	0	0	11	4	21
8~10		0	0	0	4	3	1	5	0	0	19	21	53
10~12		0	0	0	2	3	0	2	0	0	15	12	34
12~14		0	0	0	4	0	0	2	0	0	17	11	34
14~16		0	0	0	8	1	1	3	0	0	14	8	35
16~18		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	7
18~20		1	0	0	1	0	0	4	0	0	10	4	20
20~22		0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
22~24		0	0	0	0	0	0	2	0	0	7	1	10
計		1	0	0	21	7	2	23	0	1	132	74	261



(5) 現場到着・収容所要時間別出動件数

ア 現場到着所要時間別出動件数

所要時間 種別	(件)							令和元年	
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着 最短時間	現場到着 最長時間	現場到着 平均時間
急 病	11	50	46	27	1	135	2分	24分	6.2分
交通事故	1	4	7	5	2	19	2分	22分	9.5分
一般負傷	1	8	11	3	1	24	2分	21分	6.0分
その 他	28	45	12	6	2	93	2分	33分	4.3分
合 計	41	107	76	41	6	271	2分	33分	5.8分

イ 収容所要時間別搬送人員

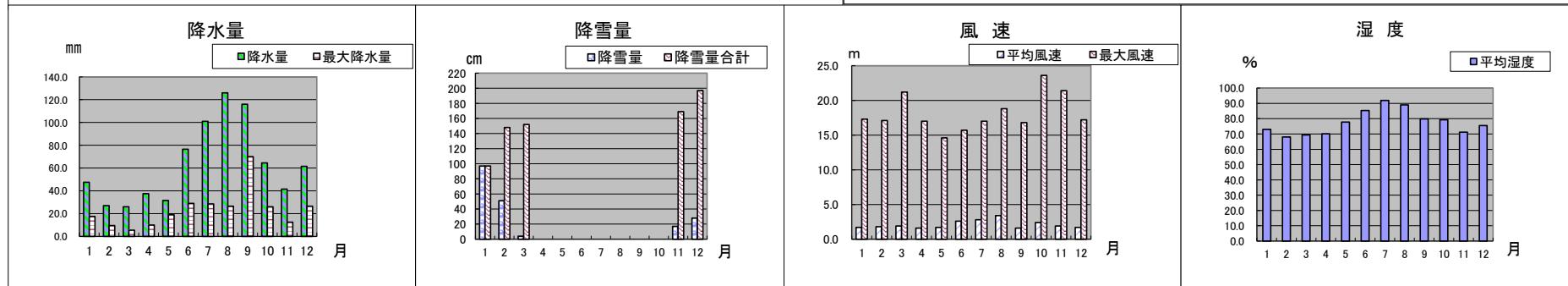
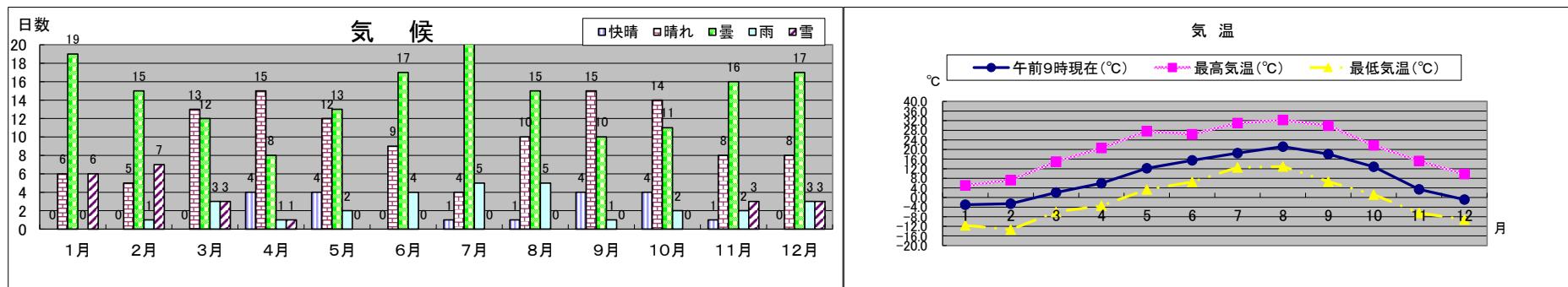
所要時間 種別	(人)							収容最短 所要時間	収容最長 所要時間	収容平均 所要時間
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計			
急 病	1	40	62	27	2	0	132	9分	105分	24.7分
交通事故	0	3	6	11	1	0	21	15分	75分	36.6分
一般負傷	0	7	12	4	0	0	23	12分	41分	23.0分
その 他	0	1	10	36	34	4	85	17分	125分	65.1分
合 計	1	51	90	78	37	4	261	9分	125分	38.7分

平成31年(平年)

氣象觀測記錄集計表

長万部町消防本部(署)

要素 月別	天候日数(9時現在)					雪				雨				気温			風速 の 平均	風向別日数(1日平均)										最大			湿度 の 平均									
	快晴		晴れ	曇	雨	最深新雪		最深積雪		降雪量		降水量合計		降水量(月)		最大降水量(一日)		1日平均		最高		最低																		
	起日	値(cm)	起日	値(cm)	Cm	Cm	mm	起日	量(mm)	mm	起日	値(°C)	起日	値(°C)	mm	起日	量(mm)	mm	起日	値(°C)	起日	値(°C)	mm	起日	量(mm)	mm	起日	値(°C)	起日	風向	風速									
1月	0	6	19	0	6	7日	12	9日	38	97	97.0	47.5	24日	17.5	-3.0	15日	5.0	17日	-11.6	1.7	3	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	6	3	2	13	28日	南東	17.3	73.0	
2月	0	5	15	1	7	14日	9	14日	40	51	148.0	27.0	4日	9.5	-2.6	22日	7.2	9日	-13.4	1.8	2	0	0	0	2	1	0	0	1	0	1	9	4	3	5	24日	西南西	17.1	68.0	
3月	0	13	12	3	3	12日	2	12日	2	4	152.0	26.0	26日	5.5	2.1	20日	14.9	30日	-6.0	1.9	2	0	0	0	0	5	0	1	0	4	2	2	1	4	10日	西南西	21.2	69.3		
4月	4	15	8	1	1							37.5	26日	10.0	5.9	17日	20.6	4日	-3.4	1.6	7	0	0	0	1	4	2	2	3	1	1	3	0	1	5	25日	北北西	17	70.1	
5月	4	12	13	2	0							31.5	21日	19.0	12.2	26日	27.6	13日	3.3	1.7	2	0	0	1	0	1	3	3	5	5	1	4	2	1	0	3	3日	西	14.6	77.8
6月	0	9	17	4	0							76.5	16日	29.0	15.5	27日	26.3	18日	6.5	2.6	0	0	0	0	0	1	13	6	4	1	0	0	1	0	0	4	15日	南東	15.7	85.3
7月	1	4	21	5	0							101.0	12日	28.5	18.5	28日	31.0	10日	12.5	2.8	2	0	0	1	0	0	13	5	3	3	1	0	3	0	0	0	12日	南東	17	91.9
8月	1	10	15	5	0							126.0	16日	26.5	21.2	2日	32.3	26日	12.9	3.4	2	0	0	0	0	0	17	1	0	1	0	0	1	1	0	8	9日	南東	18.8	89.0
9月	4	15	10	1	0							116.0	23日	70.0	18.1	9日	29.9	26日	6.6	1.6	9	0	0	0	0	0	3	3	1	0	0	1	3	1	0	9	23日	南東	16.8	79.8
10月	4	14	11	2	0							64.5	14日	26.0	12.8	2日	21.7	28日	1.2	2.4	9	0	0	0	0	0	6	2	0	0	0	1	4	0	0	9	26日	南東	23.6	79.3
11月	1	8	16	2	3	20日	5	17日	7	17	169.0	41.5	18日	12.5	3.4	1日	15.2	28日	-6.4	1.9	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	10	3	1	9	18日	南	21.4	71.2
12月	0	8	17	3	3	22日	10	22日	10	28	197.0	61.5	2日	26.5	-0.9	2日	9.8	9日	-9.2	1.7	6	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	8	3	1	9	4日	西	17.2	75.5
種目	合計				最深	最深	最大	合計(シーケンス)		合計	最大	平均	最高	最低	平均	合				合計				最大平均				最大平均												
	19	119	174	29	23	12	40	97	197.0	756.5	70.0	8.6	32.3	-13.4	2.1	47	0	0	2	0	5	71	25	16	14	8	12	52	17	12	84		23.6	77.5						



(2) 過去10年間の気象状況

区分 年別	天候					雪			雨		気温			湿度	風		主な天災等
	快晴	晴れ	曇り	雨	雪	降雪量合計 cm	最深新雪量 cm	最深積雪量 cm	降水量 mm	最大降水量 mm	1日平均 °C	最高気温 °C	最低気温 °C	平均湿度 %	平均風速 m/s	最大風速 m/s	
21年	23	123	156	46	17	機械の故障			878.5	50.5	8.0	27.3	-11.4	76.4	1.7	22.6	
22年	14	135	143	38	35	305	71	261	1215.0	81.5	9.5	31.5	-14.6	77.1	1.5	22.2	
23年	12	151	135	38	29	445	40	70	1158.5	110.5	7.9	32.9	-12.8	76.8	1.5	21.6	
24年	23	127	158	28	29	310	26	78	1198.5	110	8.2	31.9	-13.0	77.5	1.7	24.6	
25年	9	137	146	49	24	376	26	102	1226.5	101	7.9	30.8	-14.3	77.1	1.6	48.0	
26年	13	117	166	38	31	380	25	75	954.0	66.5	7.7	30.7	-14.4	74.9	1.5	48.0	
27年	10	142	138	45	42	200	27	30	1232.0	100.5	8.9	32.0	-9.4	75.1	1.7	41.9	
28年	11	146	141	44	24	182	16	48	1234.5	75.5	8.3	29.7	-11	74.8	1.6	33.2	台風10号
29年	6	152	144	42	21	197	15	60	1216.0	66.5	8.2	30.6	-13.1	75.8	1.8	27.4	台風18号
30年	15	120	160	43	24	250	15	50	1389.0	124.0	8.7	31.2	-16.6	77.6	2.1	31.2	北海道胆振東部地震
31年	19	119	174	29	23	197	12	40	765.5	70.0	8.6	32.3	-13.4	77.5	2.1	23.6	
計	平均	平均	平均	平均	平均	平均	最大	最大	平均	最大	平均	最高	最低	平均	平均	最大	
	14.1	133.5	151.0	40.0	27.2	284.2	71.0	261.0	1133.5	124.0	8.4	32.9	-16.6	76.4	1.7	48.0	

4 通 報 統 計

(1) 専用電話(119番)受信状況

区分／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火 災				1		1	1	1					4
救 急	10	11	9	11	20	13	9	13	18	15	15	12	156
病院照会							1	1					2
誤 報	3	1		1	1	2	2	1		1	1	1	14
いたづら													0
テ スト	222	215	221	216	224	216	222	217	215	222	215	218	2623
そ の 他		1			2	1		1	2		2	4	13
合 計	235	228	230	229	247	233	235	234	235	238	233	235	2,812

(2) 高齢者等緊急通報システム受信状況

区分／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
受託世帯	24	24	25	25	25	24	24	24	24	25	24	22	
火災出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤 報	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	4
テ スト	1	0	1	0	25	1	1	0	1	1	0	0	31
電池切れ	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
そ の 他	5	6	8	6	6	3	8	2	5	2	2	5	58
合 計	7	6	9	6	31	5	15	2	6	3	3	6	99

(3) 医療情報システム検索状況

区分／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
医療機関 検索		6			0			1			7		14

消 防 年 報

(令和元年版)

編集 長万部町消防本部 庶務係

〒049-3521

北海道山越郡長万部町字長万部450番地21

電 話 01377-2-2049

F A X 01377-2-5260

E-mail shobo@town.oshamambe.lg.jp

発行年月日 令和2年 12月10日

(初刊 平成9年3月1日)